

## 登錄稅法中改正法律案外七件特別委員會議事速記錄第一號

付託議案

關稅定率法中改正法律案

大正十四年法律第五十一號中改正法律案

昭和二年三月十五日(火曜日)午前十時十五分開會

○委員長(添田壽一君)

ソレデハ開會ヲ致シマス、引續キマシテ主税局長ノ昨日ノ續

キノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(黒田英雄君)

昨日砂糖關稅並ニ砂糖消費稅ニ付キマシテ御説明ヲ申上ダ

タノデアリマス、關稅定率法ニ於キマシテ

ハ尙小砂糖ニ關シマスル外ニ酸化「コバルト」ニ付キマシテハ昨

年一般改正ノ際ニ於キマシテ、無稅デアリ

マシタモノノ百斤ニ付キマシテ百二十八圓

ノ關稅ヲ掛ケルコトニ改メタノデアリマス、酸化「コバルト」ニ付キマシテハ昨

年一般改正ノ際ニ於キマシテ、無稅デアリ

マシタモノノ百斤ニ付キマシテ百二十八圓

ノ關稅ヲ掛ケルコトニ改メタノデアリマス、酸化「コバルト」ハ御承知デモアリ

マセウト思ヒマスガ、琺瑯鐵器ニ塗リマス

ル材料ニ使ヒ、或ハ陶器等ニ用キマスルモ

ノデアリマスルガ、多ク是ハ海外カラ輸入

ヲ致シテ居ルノデアリマス、以前ニハ是等

ノ酸化「コバルト」ノ礦石ガ我國ニ於テ產

出シタコトガアリマスルケレド

モ、併ナガラソレモ近年其產出ガ無クナッ

タノデアリマシテ、殆ド輸入ニ依テ供給

スルト云コトニナッタノデアリマスガ、前キ

大正十三年以來大阪ニ於キマシテ此含銅硫

化鐵礦ノ廢液中カラシテ酸化「コバルト」ヲ

取ルト云コトニ仕事ガ出來マシテ、ソレ等ノ生

産ガ出來ルヤウニナッテ來タノデアリマス、

ソレ故ニ之ヲ相當保護イタシマシタナラ

バ、是等海外カラ仰イデ居リマスル所ノ酸

化「コバルト」ヲ内地ニ於テ供給スルコトガ出来ルダラウト云考ヲ以チマシテ、昨年

ノ改正ニ於キマシテ無稅ヨリ百斤百二十八

圓ノ關稅ヲ掛ケルコトニ致シタノデアリマス、然ルニ其後酸化「コバルト」ノ價格ト云

フモノガ非常ニ下リマシテ、内地ニ於キマ

スル製造ト云フモノガ其生產費ヲ高ク要シ

マスル關係ヨリシテ、到底供給ガ出來ナイ

ノデアリマス、從<sup>レ</sup>テ昨年一般改正ニ於キ

マシテ課稅サレルヤウニナリマシタ後、ソ

レ等ノ當業者ハ種々改良工夫ヲ致シマシ

テ、色々此製造上ニ於キマシテハ改良ヲ致

シタノデアリマス、併ナガラ色々改良ヲ致

シマシタガ、結局ドウモ安ク海外ノモノガ

這入<sup>レ</sup>テ參リマスノデ、到底競爭ガ出來ナイ

ト云ノノデ、昨年ノ秋以來最早其製造ヲ廢

止イタシマシテ、當分再ビ此製造ガ出來ル

ト云フ見込モナイト云フコトニ相成<sup>レ</sup>テ參

タノデアリマス、ソレ故ニ是ノモノガ

輸出品ヲ<sup>レ</sup>歐米ニ輸出サレマスル所ノ琺

瑯鐵器トカ、或ハ陶器等ニ用ヒラレル點カ

ヤウナ有様ニナッタノデアリマスルカラ、寧

口是ハ免稅ヲシテ元ノ無稅ニ返スコトガ適

當デアルト云コトヲ考ヘマシテ、無稅ニ

イタスコトニ付シタノデアリマス、ソレガ

此定率法ノ改正デアリマス、ソレカラ序ニ

昨日此委員會ニ御附託ニナリマシタ定率法

ノ改正ニ付テ御説明申上ダマスルガ、前キ

ニ提案イタシマシタノハ前申上ダマスル通

リ砂糖ノ關稅並ニ酸化「コバルト」デアッタ

ノデアリマスガ、其後關稅調查委員會ニ於

キマシテ、昨年ノ一般改正ノ際ニ於キマシテ衆議院ニ於テ希望ノ決議ガアリマシタ品

目ニ付テ諮詢ヲ致シテ居リマシタモノガア

終了イタシマシテ、報告イタシタモノガア

ルノデアリマス、ソレハ即チ「タビヲカ」

「マニヲカ」「セイゴ」及ビ「コンスター」

「バタ」ト云フヤウナモノニ付テノ調査ガ出

來マシタノデアリマス、ソレ故ニソレニ基

キマシテ更ニ改正案ヲ提案ヲ致シタ次第デ

アリマス、ソレニ依リマスレバ「タビヲカ」

「マニヲカ」及ビ「セイゴ」ト云フヤウナ粉狀

ノモノ其他ノモノガアリマシテ、粉ニナッテ

居リマスモノハ、是ハ一面食料ニ用キラレ

マスシ、又一面ニ於キマシテハ工業用ニモ

用キルト云フ狀況デアルノデアリマス、ソ

コデ此是等ノモノガ以前ハ「タビヲカ」「マ

ニオカ」ハ一圓五錢、大體ノ二割ノ關稅デ

一圓五錢、「セイゴ」ハ二圓ト云フ關稅デ

アッタノデアリマスガ、之ヲ昨年一般改正

ノ際ニ於テ一割五分ノ見當ノ一圓ト云フモ

ノニ改メタノデアリマス、然ニ是等ノモ

ノガ輸入モ相當ニアルノデアリマス、是等

ニ丁度<sup>レ</sup>「タビヲカ」「マニヲカ」「セイゴ」

ニ付キマシテハ從前ハ先程申上ダマシタヤ

ウニ二種類ニ此稅率ハ分ケテ居タノデア

リマスガ、是ハ以前「セイゴ」ト云フモノガ

此食料<sup>レ</sup>、贅澤ニ使ハレルト云フ風ナ意味

カラ稅ガ高クナッテ居ルノデアリマス、併

テ、大體は二割ノ、即チ其處ニ御覽ニナ

リマスルヤウニ、其澱粉類ノ最後ニ「其他」

トアル、其他ガ二割、其「其他」ト云フニ二割

云フモノハ、其他ノ物ハ多クハ、ソレハ

或ハ馬鈴薯ノ澱粉ト云フ風ナ物<sup>レ</sup>コニ含

シテ居ルノデアリマス故ニ、ソレラト大體

權衡ヲ取リマシテ、二割カラ割出シマシタ

八十錢ニ引上ダタノデアリマス、ソレカラ  
「コンスター」ニ付マシテモ、是ハ「コン  
スター」ハ其用途カラ考へマスト云フト、  
工業用ニ：矢張リ織物等ニ用ヒル糊ニ使  
フノデアリマス、昨年ノ議會ニ於キマシ  
テ、衆議院ニ於テ色ニ質問ガアリマシタ際  
ニ、私共ノ調べ居リマスル所ニ依リマス  
ルト、「コンスター」ハ主トシテ食糧ニ使  
フ、或ハ「ブッディング」「パイ」西洋菓子、「ア  
イスクリーム」ト云フ風ニ、食糧品ニ使フ  
ノデアルト云フコトヲ申シタノデアリマス  
ガ、是ハ其後十分調査研究ヲ致シマシタ結  
果、コレハ特ニ東京地方ニ於キマスルモノ  
ハサウデアッタノデアリマスガ、全體ヲ見  
マスルト云フト、其七割餘、八割近イモノ  
ハ、工業用ニ使フト云フコトガ分々タノデ  
アリマス、ソレニ昨年私共ノ申上ダマシタ  
コトハ誤ツテ居ッタコトヲ發見イタシタノデ  
アリマス、而シテ是等ノ生産ハ内地ニ於キ  
マシテ戰時中ニ於テハ輸入品ガ參リマセヌ  
タノデアリマス、然ルニ戰後輸入品ニ壓セ  
ラマシテ、ソレラノモノハ生産ヲ止メテ、  
僅カニ一一ノ者ガ生産ヲ僅カニ續ケテ居ル  
ト云フ狀態デアッタノデアリマス、ソレ故  
ニ折角此等ノ生産ガ内地ニ於テ出來ル、サ  
ウシテ能力ヲ有ツテ居ルノデアリマスカラ、  
是ハ相當保護シテ立タセルコトガ必要デア  
ル、又一面カラ見マシテ、稅ガ上リマシテ  
モ、是ハ主トシテ食糧品ニ使フノデアリマ  
スカラ、差支ナイト云フ見地カラ致シマシ  
テ、此等ノ關稅ヲ引上ダマシタ、一圓六十  
五錢デアリマシタノヲ四圓五十五錢ニ引上  
ト、此等ハ其大部分ト云フモノガ工業用ニ

使フモノデアル、工業用糊ニ使フノデアリ  
マシテ、此等ハ或ハ海外ニ輸出サレル織  
物ニモ使ハレルノデアリマス、ソレ  
故成可ク此等ノ物ノ生産條件ヲ有利ニ  
スルト云フコトガ必要ト考ヘルノデアリマ  
ス、此引上ハ餘リニ高キニ過ギルデハナカラ  
ラウカト云フ御詫モアリマスガ、併ナガラ一  
面ニハ又内地ノ生産ノコトモ考ヘナケレバ  
ナラヌノデアリマスカラ、矢張リ是モ他ノ  
澱粉類ト同様ニ矢張リ一割ノ大體税率ニシ  
テ、從量稅ヲ編出スルコトガ適當デアラウ  
ト云フ考ラ以チマシテ一圓三十錢ト云フコ  
トニ改メマシタ次第デアリマス、ソレカラ  
「バター」ニ付キマシテハ是ハ昨年ノ一般改  
正ノ際ニ於テハ從來ノ稅率ヲ据ヘ置キマシ  
タノデアリマス、是ハ從來ノ稅率ハ大體他  
ノ食糧品等ニ比較シマシテ適當デアルト云  
フ風ニ考ヘマシタノデ其儘据ヘ置イタノデ  
アリマスルガ、併ナガラ此「バター」ノ生産  
ハ内地ニ於キマシテハ海外ノ品物ニ劣ラナ  
イ品質ノモノヲ製造シ得ルヤウニ相成テ  
居ルノデアリマス、併ナガラ外國カラシテ  
「バター」ガ相當ニ輸入サレマシテ、是等ハ  
一方ニハマダ外國品崇拜ト云フ風ナコトモ  
アラウト思ヒマスルケレドモ、併ナガラ價格  
格ノ上ニ於キマシテ相當壓セラレルヤウナ  
状況ニアルノデアリマス、從フテ此「バター」  
ノ一面ニ於テハ「バター」ノ消費ガ増加致シ  
テ參ル、「バター」ノ生産モ相當增加シテ參  
リマスルケレドモ、併ナガラ外國品ニ競  
争致シマスル關係上「バター」ノ値段ヲ抑  
ヘラレル、「バター」ノ値段ガ抑ヘラレマス  
ルト云フト、從フテ「バター」ノ原料トナリマ  
スル所ノ牛乳ト云フ物ノ値段ガ廉クナッテ  
來ル、即チ畜產、農家ニ於テ牛ヲ飼フ、サ  
ウシテソレ等ノ乳ヲ搾リマシテモ是等ノ牛

デアリマスルガ、之ヲ消費スルコトが出来  
ナイ或ハ北海道ト云フヤウナ所ニ於キマシ  
テハ多ク之ヲ「バター」ノ原料トシテ用ヒナ  
ケレバナラヌ、其場合ニ於キマシテ「バター」  
畜産業ノ上ニ於テ非常ニ此不利益ナ結果ヲ  
來スノデアリマス、一面ニ於アハ畜産ヲ獎  
勵スル方策ヲ執ッテ居リ、マスル以上、又農  
家ノ畜産ノ成ルベク有利ニ經營サレルヤウ  
ニ致サナクチヤナラヌノデアリマスカラ、  
ソレ等ノ點ヲ考ヘマシテ、今日「バター」ノ  
關稅ニ付キマシテハバタノ製產ハ相當出來  
マスクレドモ、サウ云フ風ニ畜産業ノ上ニ  
非常ニ困難ナ狀況ヲ來タスノデアリマス、  
ソコデ相當ナ生產費ヲ見マシテ、即チ畜產  
ノ上ニモ、バタ製造ノ上ニ見マシテモ相當  
ナ生產ハ今日出來テ居リマス、生產其儘デ  
アリマセヌ、勿論是ハ相當改良シテ參ラナ  
ケレバナリマセヌカラ、單リ關稅ノ上ニミニ  
賴ム譯ニ參リマセヌカラ、相當是等ノ方モ  
改良シテ參リマシテ、外國品トドウ云フ關  
稅ニナルダラウト云フコトヲ攻究致シマシ  
タ結果茲ニ提案致シマシタヤウニ今日一十  
九圓六十錢ト云フ關稅ヲ三十六圓九十錢ニ  
改メマスコトガ適當當ト考ヘマシテ改正案ヲ  
提案致シタノデアリマス、衆議院ニ於テ、  
其外ニ「オレーヴ」トソレカラ「カッサバルー  
ト」ト云フモノガ加シタノデアリマス、「カッ  
サバルート」ト云フモノハ「タビオカ」「マ  
ニオカ」ノ原料デアリマシテ、「カッサバルー  
ト」ト云フ草ノ根デアリマスルガ、詰リ諸  
ノヤウナモノデアリマシテ、其物ヲ粉ニシ  
マシテ、ソレガ「タビオカ」等ニ相成ルノデ  
アリマス「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」  
等ノ稅率ヲ引上げテ内地ノ甘諸澱粉ノ保護  
ヲスルト云フコトニ致シタノデアリマスケ

「ニオカ」ノ粉ニナリマシタモノヲ税率ヲ上  
ゲテ保護ヲシ内地ノ甘諸澱粉並ニ甘諸ヲ保  
護ヲ致シマシテモ、其原料デアリマス「カッ  
サバルート」ガドンドモ廉ク這入ッテ參リマ  
シテソレヲ以テ内地デ廉キ粉ガ出來ルコト  
ニナリマスト云フト、折角甘諸並ニ甘諸澱  
粉ヲ保護スルト云フ目的ヲ達シナイコトニ  
ナルカラシテ、是ハ「カッサバルート」原料ノ  
關稅ヲ上ゲル必要ガアルト云フ議論デアリ  
マシタノデ、我ニニ於テモ其コトハ考慮致  
シテ居ツタノデアリマス、併ナグラマダ「カッ  
サバルート」ト云フモノハ今日輸入ハ相當這  
入ッテ參リマスケレドモ、是モ極ク新シイ  
コトデアリマスシ、粉ノ方ノ、「ルート」ノ  
方ニ付テハ從價一割ノ關稅ガ掛ツテ居ルノ  
デ、暫クソレ等ノ實際ノ影響ヲ調査スルコ  
トガ適當デナカラウカ、相當考慮スル必要  
ハアルトハ認メマシタガ、尙調査ヲスルコ  
トニ致シテ置イタノデアリマス、然ルニ衆  
議院ニ於テサウ云フ議論ガ出マシテ、其議  
論ハ一應尤モノ考トモ考ヘルノデ、先ヅ大  
體ニ割ノ見當ノ六十錢ト云フ稅率ヲ盛ルト  
云フ修正デアッタノデアリマスカラ、粉ノ方  
ハ二割ニ圓三十錢ト云フコトニ致シテ居  
リマスルカラ、先づ諸ノ方ガ一割位トシタ、  
シテハ「オレイン」ハ矢張リ是ハ油、油脂分  
解工業ノ際ニ於テ生産セラレルモノデアリ  
マシテ、内地ニ於キマシテ生産ガ抑ヘラレ  
ル、尙ホ其生產ノ能力ト云フモノハ之ヲ適  
當ニ保護シテ生産ヲシマシタナラバ内地ノ  
自給ヲシ得ルト云フカラ有ツテ居ルノデア  
リマス、織絲ニ付キマシテハ、先程チヨッ  
ト説明ヲ途中ニ致シマシタカラ多少重複シ

ス、織絲ニ付キマシテハ前ニ一般改正ノ際ニ於キマシテ是ハ五圓ノ關稅ヲ課セラレテシマシテ先ヅ是ハ適當ト見テ當時修正ヲ致サナカツタノデアリマス、然ルニ衆議院ニ於キマシテ昨年ノ改正ノ際ニ於キマシテモ、是ハ尙ホモウ少シ保護スル必要ガアルト云フ議論ガアツタノデアリマス、調查委員會ニ於テモ調査イタシテ居ルノデアリマス、然ルニ衆議院ニ於キマシテ他日改正ノ際ニ於キマシテ、是モ今日輸入價格ガ其後相當低落シテ參<sup>ス</sup>テ、サウシテ内地ノ油脂分解工業ニ付テハ相當困難ナル狀況ニ在ルノデアリマスカラ、寧口是ハ適當ニ保護スル方ガ必要デアル、ソコデ今日五圓ノ現行稅率ヲ七圓六十錢ニ改正スルノガ、適當デヤナカラウカト云フ議論ガ出マシタノデアリマス、之ニ付キマシテハ前申上ダマスル通り調査委員會ニ於テモ相當考究イタシ、此油脂分解工業ニ於キマシテ出來マスル卽チ「グリセリン」ニ付テハ前ノ一般改正ノ際ニ相當ナ保護ヲ致シタノデアリマス、然ルニ其外ニ出來ル「ステイアリン」デアルト云カ「オレイン」デアルトカ、或ハ石鹼トカト云フ風ナ物ガアルノデアリマスルガ、其内ニ於キマスル「オレイン」ニ付キマシテハ、前申上ダマスルヤウニ相當生產能力ヲ有<sup>シ</sup>テ居ルノデアリマス、若シ是デ十分ニ生產ヲ致シマシタナラバ内地ノ需要ハ十分ニ供給ニ生產セラレナイト云フ狀況ニ在ルノデアリマス、就キマシテハ十分ニ考究ヲ致シテ品ガ安ク入<sup>シ</sup>テ參リマスル結果トシテ十分居リマシタ際デアリマスカラ、衆議院ノ提案ノ五圓ヲ七圓六十錢ニスルト云フコトハ

マシテ之ニモ同意ヲ致シタ次第デアリマス、ソレガ此關稅定率法ノ改正デアリマス、十四年法律第五十一號中改正法律案ニ付テ御説明申上ダマス、是ハ昨日モ御説明申上ニ對シマシテ内地ニ入りマスル際ニ於テ關稅ヲ免除スル法律デアルノデアリマシテ、是ハ關東州ニ於テ相當生產ヲサレ、サウシテ内地ニ於テ是等ノ物ノ供給ヲ潤澤ニスルトヨ與ヘズシテ、一面ニ於テハ關東州ノ產業ニモ有利デアルト云フ風ナ物ニ付キマシテハ、大正十四年度ニ於テ之ヲ無稅トスルコトニ致シタ法律ガ出來タノデアリマス、所ガ昨年ノ一般ノ改正ノ際ニ於キマシテ、從來有稅品デアリマシタモノガ無稅ニナッタモノガアルノデアリマシテ、「ナフタリン」デアルトカ、或ハ「コールタール」ノ分餾物デアルトカ、眞綿デアルトカ、野蠻紡績、絹織絲、粗製ノ硫酸曹達ト云フ風ナモノハ從來有稅デアリマシタカラ、此法律ニ依テ無稅ニ致シテ居タノデアリマス、昨年一般般改正デ無稅ニナリマシタカラ、是ハ當然必要ハナクナッタノデアリマス、併シ特ニ昨年改正スルマデニ必要ガナカッタノデアリマスカラ今回此機會ニ於テ是ハ條文ヲ整理イタシテ削除イタスコトニ致シタノデアリマス、新ニ追加イタシタモノハ黃麻織絲デトシタ布綿製品、「マグネサイト」又ハ「下ロマイド」ヲ主要原料トシタ建築材料、特殊鋼「ニッケル」及「クローム」ヲ含ム電氣抵抗材料、是等ヲ免稅ニ新ニ致シタノデアリ

マス、是モ前申上ダマシタ同一ノ精神カラ  
參テ居ルノデアリマス、黃麻織絲ハ從來ハ  
黃麻絲及ビ黃麻線以下ニ付テ免稅ヲ致シテ  
居タノデアリマスルガ、其外ニ黃麻織  
絲、是モ内地ニ參リマシテ導火線ノ芯ト  
云フ風ナ物ニ用キテレ、相當入ッテ居ルノ  
デアリマス、ソレ故ニ是モ矢張リ前ノ趣  
旨カラ申シマシテ免稅イタスコトガ適當  
ト考ヘタノデアリマス、ソレカラ此布  
帛製品、關東州デ出來ル綿布又ハ日本デ  
出來マシタ綿布ヲ持テ參リマシテ、  
サウシテ關東州デ出來タ油ヲ加ヘマシテ  
拵ヘル、即チ主トシテ貨物等ノ雨覆ニナル  
ヤウナモノデアリマス、是ハ寒氣ニモ耐ヘ  
マシテ特色ヲ有ツテ居ルト云フノデ相當内  
地ニモ輸入ガアルノデアリマス、是ハ前申  
上ダマシタ趣旨ニ照シマシテ内地ノ產業ノ  
上ニ惡影響モ及ボスコトモナク内地ノ供給  
ヲ潤澤ニシ得ルモノト考ヘルノデアリマ  
ス、是モ免稅スルコトニ致シタノデアリマ  
ス、「マグネサイト」「ドロマイド」是モ關  
東州内ニ於テソレ等ノ礦物ガ生産サレマシ  
テ、ソレヲ粉ニシタモノデアリマシテ、ソ  
レニ依テ建築ノ床等ニ使フ、建築材料ニ用  
キルノデアリマス、是モ内地ニ於テ餘り生  
產ノナイモノデアリマスカラ、之ヲ入レマ  
スルコトハ適當デアルト考ヘタノデアリマ  
ス、ソレカラ特殊鋼、即チ全重量ノ百分中  
「クローム」「タンクステン」「モリブデン」ノ  
重量〇・五以上含有シテ居ルモノ、是モ關  
東州デ出來マシタモノ、是ハ内地ニ入レマ  
スルコトハ適當デアルト考ヘタノデアリマ  
スルガ、若シ海外カラシテ塊トカ錠ヲ持  
テ参リマシテ、サウシテ關東州デ之ヲ條、  
ルノデアリマスカラソコデ關東州デ製造シ

ト云フ風ニシマシテ、初メカラ關東州ニ以テ拘ヘタモノデナケレバナラスト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、「ニッケル」及「クローム」ヲ含ム電氣抵抗材料デアリマス、是モ前ト同様ノ趣旨ヲ以テ免稅ヲ致スコトニ致シテ居ルノデアリマス、次ニ今回ノ改正ニ於キマシテハ免稅デナク、關稅ヲ輕減スルモノヲ設ケマシタノデアリマス、其一つハ大豆硬化油デアリマス、大豆硬化油ハ主トシテ内地ニ參リマシテ此石鹼ノ原料ニ多ク用ヒラレルモノデアルノデアリマス、從來此石鹼ノ原料、材料トシマシテハ牛脂ヲ使ツテ居ツタノデアリマス、然ルニ此牛脂ハ殆ド内地ニ於テ生産サレマセヌデ大部 分ト云フモノハ濠洲或ハ支那アタリカラ輸入サレテ居ツタノデアリマス、ソレ故ニ是等ノ牛脂ハ無稅ト致シマシテ、石鹼ノ製造ノ便宜ヲ圖ツテ居ツタノデアリマス、然ルニ牛脂ニ代ヘテ大豆硬化油ヲ用ヒ得ルト云フコトガ認メラレルヤウニ相成ツタノデアリマス、サウナリマスレバ寧口此海外ニ仰ギマスル所ノ牛脂ニ代ヘテ、内地若クハ關東州デ出来マスル所ノ大豆硬化油ヲ以テ、之ニ代ユルト云フコトハ國策ノ上カラ見マシテモ適當デアルト云フヤウニ考ヘタノデアリマス、ソレデ一面ニ於テハ大豆硬化油ノ生産ヲ容易ニシテ、サウシテ其供給ヲ潤澤ニ致シマシテ牛脂ノ輸入ヲ多少押ヘマスル改正ニ於キマシテ無稅カラシテ之ヲ有稅三リニハ、之ニ代ツテ大豆硬化油ト云フモノシテ一圓二十錢ノ關稅ヲ掛ケルコトニ致シノ供給ヲ潤澤ニ致サナケレバ石鹼業者ハ苦痛ヲ感ズル譯デアルノデアリマス、然ルニ内地ニ於ケル大豆硬化油ノ生産ト云フモノ

ハドウシテモ關東州カラ大豆硬化油ノ這入<sup>ト</sup>テ來ルコトヲ容易ニシテヤラナケレバナラヌ、容易ニシテヤラナケレバナラヌノ付キマシテハ今日ハ二割ノ關稅ガ掛ルノデアリマス、ソコデ此關稅ヲ輕減イタシマシテ牛脂ト同ジク一圓二十錢ト云フ關稅ニ之ヲ直シマシテ、牛脂ニ一面ニ於テ之ニ課稅スル代リニ、之ニ代ハル所ノ大豆硬化油ノ輸入ヲ容易ニスル、併シ之ヲ無稅ニ致シマスト云フト内地ニ於ケル大豆硬化油ノ生産ト云フモノニ不利益ノ結果ヲ來タスノデアリマスカラ、先ヅ牛脂ノ方ノ稅率ト同様ノ稅ヲ掛けル、即チ一圓二十錢ヲ大豆硬化油ニ對シテハ課稅スルト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ日本ノ生產ニ係ル亞麻布及ビ關東州ノ生產ニ係リマスル亞麻布ヲ原料トシタル油布、是ハ先程ノ綿布ヲ原料トシタルモノニ付テハ免稅ヲ致シタノデアリマスガ、亞麻布ニ付キマシテハ日本ニ於テ出來マシタ亞麻布ヲ原料ト致シマスト云フト關東州ニ日本ノ亞麻布ガ參リマス時ニ織物消費稅ヲ免稅スルノデアリマス、綿布ハ昨年ノ織物消費稅ノ改正ニ依リマシテ無稅ニナリマシタカラ是ハ一向差支アリマセヌガ、亞麻布デアリマスト云フト、内地デ亞麻布ヲ作<sup>テ</sup>油布ヲ掛<sup>ヘ</sup>マスト云フト織物消費稅ヲ負擔シタル亞麻布ヲ使フコトニナルノデアリマス、是ガ關東州ニ參リマスト亞麻布ガ出マス時ニ消費稅ヲ免除シテ居リマスカラ、關東州ニ參<sup>タ</sup>モノハ丁度織物消費稅ダケヲ免レタル油布ノ製品ガ出来ルト云フコトニナルノデアリマスガ、是ダケ有利ノ立場ニナルノデアリマス、是デ

ハ内地ノ產業ト公平ナル競争ヲスルコトガ  
出来ナイ、ソコデ之ニ付テハ稍織物消費  
稅ニ相當スルモノダケヲ關稅トシテ茲ニ取  
ルト云フコトニ致シタノデアリマス、亞麻  
布ニハ二三ノ種類ガアリマスルガ大體此稅  
率ニ依リマスレバ其何如モノヲ使ヒマシ  
テ消費稅額、詰リ消費稅額ダケノ負擔ヲス  
ル、即チ言ヒ換ヘマスレバ消費稅ノ是モ多  
ク掛ル時ノ亞麻布ノ消費稅ト云フモノヲ標  
準ニ致シマシテ一圓八十五錢ヲ掛ケマスル  
ナラバ、丁度内地ノ織物消費稅ヲ負擔シマ  
スル油布製品ト同様ノ立場ニ立ツコトニナッ  
テ次第アリマス、是ガ關東州ノ關稅ニ關  
シマスル大體改正ノ趣旨ハ右申上ダマシタ  
ヤウナ次第アリマス  
○藤田四郎君 チヨント御尋シマスガ、乙號  
ノ唯今最後ニ……  
○委員長(添田壽一君) マダ御話ガアルノ  
デスカ  
○政府委員(黒田英雄君) マダ少シ説明ガ  
アルノデスガ……  
○委員長(添田壽一君) ソレデハ明治四十  
年法律第二十一號中改正法律案ニ付キマシ  
テ當局ノ御説明ヲ願ヒマス  
○政府委員(豊田勝藏君) 四十年法律第二  
十一號ハ樺太ニ於ケル稅制ニ關スル件ヲ定  
メタモノアリマス、此法律ヲ以チマシテ、  
所謂稅外五種ノ租稅ニ付キマシテ大體内地  
ノ稅法ニ準ジテ賦課徵收シテ來テ居ルノデ  
ゴザイマスガ、大正十五年ニ於テ内地ニ於  
テハ稅制ノ整理ノ行ハレマシタ結果、ソレ  
ト均衡ヲ取リマスル必要ガゴザイマスルノ  
デ、樺太ノ稅制ニモ幾分ノ改廢ヲ加ヘタイ  
ト云フノガ、此法律案ヲ提出シタ所以デゴザ  
イマス、即チ具體的ニ申上ダマスルナラバ、  
第一條ノ中デ從來營業稅トアリマシタモノ

ヲ營業収益稅ニ改メマシタルコトト、醬油  
稅ヲ徵收イタシテ居リマシタノヲ廢止スル  
ト云フノガ一ヶ條デゴザイマス、ソレカラ  
第二條ハ稅ノ徵收及ビ滯納處分ニ付キマシ  
テ國稅徵收法ヲ準用スル規定デアルノデア  
リマス、然ルニ大正十一年ニ於キマシテ國  
稅徵收法ハ其儘權太ニ施行ニナツ居リマ  
スノデ、此二條ハ事實上ニハ空文ニナツテ  
居ツタノデアリマス、從ツテ此法律改正ノ機  
會ニ之ヲ削除シタイ、是ダケノ改正案デア  
ルノデアリマス、ソレデ營業稅ヲ營業収益  
稅ニ改メ醬油稅ヲ廢シマスル理由ニ付キマ  
シテハ昨年度内地ニ於テ御協賛ヲ得マシタ  
ト同様ノ理由カラシテ出發シテ來テ居ルノ  
デゴザイマスルノデ、隨ツテ其内容トスル所  
モ殆ド内地ノ規定ト全然同ジデアルノデア  
リマス、更ニ具體的ニ申上ダマスレバ、課  
稅營業ノ範圍ニ付キマシテモ、稅率ノ關係  
ニ付キマシテモ、純益金額算出方法ト云フ  
ヤウナモノニ付キマシテモ、其他細カイ點  
マデ内地同様デアルノデアリマス、唯一點  
内地ノ稅法ト違ヒマスル所ハ、免稅點ノ關  
係デアリマス、法人ニ對シマシテ免稅點ヲ  
置キマセヌコトハ是ハ内地ノ稅ト全然同ジ  
デアリマスルガ、個人經營ニ屬シマスルモ  
ノニ對シマシテ内地ニ於キマシテハ純益金  
額四百圓未滿ヲ免稅トシテ居リマスルノヲ  
樺太ニ於キマシテハ純益金額五百圓未満ヲ  
免稅トスルト云フ點ニ於テ唯一點内地ノ稅  
法ト取扱ヲ異ニシテ居ルノデゴザイマス、  
其理由ト致シマスル所ハ樺太ニ於キマシテ  
ハ内地ト大分事情ヲ異ニ致シマシテ、特ニ  
物價等ニ著シキ差異ガコザイマスルノデ、  
生活費等モ内地ノソレニ較ベマスルト云フ  
ト相當多額ノ出費ヲ要シマスル爲ニ、是等  
ノ點ヲ考慮イタシマシテ免稅點ヲ百圓ダケ  
高クシタイト思ヒマスル……

○藤田四郎君 チヨット此現行ノヤソラチ  
ヨット見セテ貴ヒタインデスガ、意味ガ分ラ  
ヌデス……

○政府委員(豊田勝藏君) 其一點ダケ内地  
ト取扱ヲ異ニスルダケデゴザイマシテ、其  
他ハ全然内地同様デアルノデアリマス、御  
審議ノ上御協賛ヲ得タイト思ヒマス

○委員長(添田壽一君) ソレデハ尙ホ……

○藤田四郎君 極ク簡単デスカラ……

○委員長(添田壽一君) モウ一ツアリマス  
カラ……ソレデハ商事非訟事件印紙法中改  
正法律案ニ付キマシテ八並司法參與官ノ御  
説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(八並武治君) 商事非訟事件印  
紙法中改正法律案ノ御審議ヲ願フコトニ相  
成タノデアリマスルガ、現行ノ商事非訟事  
件印紙法ニ依リマスルト云フト、破産財團  
ノ配當ニ當リマシテ財團ノ數額ニ應ジテ印  
紙ノ貼用ヲ命ジテ居ルノデアリマス、併シ  
破産財團ノ金額ト云フモノハ極メテ少額十  
モノノデアルコトガ通常デアリマスルカラシ  
テ、其實情ニ鑑ミマシテ破産債権者ノ受ク  
ル所ノ配當額ヲ幾ラデモ多ク致シタイ、斯  
ウ云フヤウナ意味合カラ致シマシテ、印紙  
貼用ノ爲ニ財團ノ額ノ減少ヲ來タスコトヲ  
少ナカラシムル爲ニ此度稅制整理ニ當リマ  
シテ印紙ノ貼用ト云フモノヲ全部廢スル、  
サウ致シマシテ破産債権者ニ多少デモ多ク  
ノ配當ヲ來タサシムル方法ヲ執ルコトガ最  
モ時宜ニ適シタコトト考ヘマシテ、本案ヲ  
提出イタシタ次第アリマス、ソレデ大體  
ノ趣旨ハサウデアリマスガ、ソレニ付キマ  
シテ逐條ニ付キマシテ多少御説明ヲ申上げ  
ルコトニ致シタ方ガ便宜ガアルト思フノデ  
アリマス、ソコデ商事非訟事件印紙法中ノ  
第一條第二項ヲ削リ、第四條乃至第七條ヲ  
削ル、附則ト致シマシテ「本法施行ノ期日

ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム、本法施行ノ際未

終局計算ニ至ラサル破産手續ニ在リテハ財團ノ全部ニ付印紙ヲ貼用スルコトヲ要セ

ス、大正十五年法律第六十五號第三項ヲ削ル」ト云フノガ法案ノ大體デアリマスガ、

之ヲチヨット御説明申上ダマスルト云フト、

第一條ニ於キマシテ第五條第六條第七條ノ

場合ニ於テハ管財人ヨリ差出ス計算書ニ印紙ヲ貼用スペシト云フコトニナッテ居ルノ

デアリマス、即チ管財人カラ差出シマスル

所ノ計算書ニハ印紙ヲ全部貼用スルト云フコトガ命ジテアリマス、其事ニ付キマシテ

將來ハ管財人ノ計算書ニハ印紙ハ一切要ラナイ、斯ウ云フコトニ相成ルノデゴザイマス、ソレカラ第四條ニ付キマシテハ此破產

手續ニ付キマシテ破產財團中ノ貸方金額ニ應ジマシテ印紙ヲ貼用スル額ガココニ決メテアルノデアリマス、結局此印紙ヲ貼用スルコトヲ要シナリマスカラ、

第四條モ必要ガ無イ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、第五條ハ破產ノ配當アルモノハ終局計算ニ至シテ配當ノ金額ノ割合ニ應ジテ印紙ヲ貼用スルト云フコトガ命ジテアリマスルガ、是モ必要ノナイヤウニナルノデアリマス、ソレカラ第六條ニ於キマシテハ協議契約ニ依ツテ手續ヲ止メタ時分ニ於テハ第四條ニ掲ゲラレタル印紙ノ半額ヲ貼用スルト云フコトガ命ジテアリマス、是モ矢張リ必要ガ無クナル、ソレカラ破產手續再施ノ場合ニ於キマシテハ矢張リ破產手續ノ開始ノ場合ト同一ノ印紙ノ高ヲ貼用スベシト云フコトガ命ジテアル、是モ矢張リ必要ガ無クナル、斯ウ云フコトニナル、ソレカラ大正十五年法律第六十五號ノ内ノ第六條ノ中ニ協議契約ヲ強制和議ニ改メルト云フ條項ガアルノデアリマスガ、要スルニ大正十五年ノ法律第六十號第三項ト云フモ

ノハ全部之ヲ削ル……

○藤田四郎君 ソレハ何デス

○政府委員(八並武治君) 是ハ協議契約ト云フ文字ガ無クナッタノデアリマス、新破產ガ出來マシタ爲ニ強制和議ト云フモノニ改マツタノデアリマスクラ、是ハホンノ唯文

字ノ訂正ニナッテ居ル、大體ノ趣旨ハ破產

財團ノ印紙ヲ貼用スル場合ヲ全部廢止イタ

シタイ、破產債權者ニ多少デモ便宜ヲ與ヘタイ、斯ウ云フ意味デ本案ヲ提出イタシタノデアリマス

○委員長(添田壽一君) ソレデハ大體御説明ハ終リマシタモノト致シマシテ、又何カアトカラ御追加ニナルモノガアレバ別トシマシテ……

○藤田四郎君 私ハ此非訴事件ト云フモノハマダ聽カヌヤウニ思ヒマスガ、モウ終タノデスカ

○委員長(添田壽一君) ソレハ濟ミマシタノ方デ、コチラノ方ハ印紙法デス

○委員長(添田壽一君) ソレデハ是カラ質問ニ移リマスカラ……

○藤田四郎君 今ノ此分カラ行ッタラ早クテ宜イト思ヒマスガ……

○委員長(添田壽一君) ソレデハ便宜上唯

テアリマスカラ、唯整理ノ上ニ於テ之ヲ改正イタシタノデアリマス

○政府委員(八並武治君) サウデゴザイマス、強制和議ト云フ文字ガ新ニ破產法ニ使

テアリマスカラ、唯整理ノ上ニ於テ之ヲ改正イタシタノデアリマス

○藤田四郎君 此附則ノ第二項ノ印紙貼用不要ト云フノハ、今回改正ニナル第一條二項又ハ第四條七條ノ分ニ對シテゴザイマセウカ、其他ノモノニ付テモ不要ニナルト云フノデアリマスカ

○政府委員(八並武治君) 第一條ノ第二項並ニ第四條乃至七條マデノ範圍ゴザイマシテ、其他ノ方面ノ例ヘハ第二條ニアリマス

ス如ク破產ノ宣告ノ申立ト云フヤウナモノニハマダ印紙ガ貼用イタシテ居ルノデアリマス

○藤田四郎君 サウスルト是デ分リマセウ

リマスノデゴザイマスガ、是ハ誠ニ結構ナ事ダト思ヒマスカラ、ソレハ銀行法ニ依テ

當然是ハ來ルノデスカ、破產ノ方ノ便宜ヲ得ル目的ノ爲デアルカ、ドチラデスカ

○政府委員(八並武治君) 財團全部ニ付キ係ガナイノデス

○藤田四郎君 銀行法ノ改正ニ依テト云フコトノ御説明ノヤウニモ聞キマシタノデス

○政府委員(八並武治君) ソレハ稅制整理ノ方ノ關係デス

○藤田四郎君 銀行法ニハ全ク關係ナシデスカ

○政府委員(八並武治君) サウデゴザイマスカ

○藤田四郎君 財團カ出來タトキデナイト全部ト云フ字ハ使ハナイ、財團ノコトニ關シテハ皆ト云フヤウニ通俗デハ讀ミマスモノデスカラ、チヨット誤解ヲスルヤウニ思ヒマス

○政府委員(八並武治君) 今チヨット、差マスガ、第三項ノ「キヨウカイ」査定ト云フノハ、ドウ云フ字デスカ

○政府委員(八並武治君) 今チヨット、差マスガ、第三項ノ「キヨウカイ」査定ト云フノハ、ドウ云フ字デスカ

○政府委員(八並武治君) 上デマスカラ……

○藤田四郎君 今度ノ破產法ニハ此字ハナインデスカ

○政府委員(八並武治君) サウデゴザイマス、強制和議ト云フ文字ガ新ニ破產法ニ使

テアリマスカラ、唯整理ノ上ニ於テ之ヲ改正イタシタノデアリマス

○政府委員(八並武治君) サウシマスト、破產ニ付テノ財團ナラ財團ガ出來ル前ノ事ハ關係ハナイト思ヒマス

○藤田四郎君 サウシマスト、破產ニ付テノ財團ナラ財團ガ出來ル前ノ事ハ關係ハナイト思ヒマス

○政府委員(八並武治君) 左様デゴザイマス

○藤田四郎君 サウスルト此財團ヲ作ルコトニ付テハ、何カ提出スル書類ト云フヤウナモノニハ要ルノデスカ

○政府委員(八並武治君) サウデゴザイマス、第二條ノ破產ノ宣告ノ申立テト云フヤウナモノニハ一圓ノ印紙ヲ貼用スルシテ云フコトハ、ソレハマダ存在シテ居ルノデアリマス

○藤田四郎君 二條ダケデスカ

○政府委員(八並武治君) 二條ト先づ此財團ノ額ダケガ御承知ノ通り債權者ノ配當額ニナリマスカラ、ソレヲ少シデモ少ナクセタクナ、破產債權者ニ多少デモ多クノモノヲ配當シタクト云フ爲ニヤツタモノデアリマスカラ、財團ニナッタモノカラ僅デモ金ヲ少ナクシタクナイスウ云フ趣旨

デ出来タノデアリマス

カラ申立ノトキノコトハ含マナイ、所謂產宣告ノ申立ト云フ場合ハ含ンデ居ラナイ

ノデアリマス

○藤田四郎君 此財團ノ全部ト云フ字ハ法律上ノ言葉ニナッテ居ルノデスカ

○政府委員(八並武治君) 左様デゴザイマスカ

○藤田四郎君 財團カ出來タトキデナイト全部ト云フ字ハ使ハナイ、財團ノコトニ關シテハ皆ト云フヤウニ通俗デハ讀ミマスモノデスカラ、チヨット誤解ヲスルヤウニ思ヒマス

○政府委員(八並武治君) 財團ノ額ニ付テテハ全部ト云フヤウナ意味ニ御解釋願ヒタノデスカラ、チヨット誤解ヲスルヤウニ思ヒマス

○政府委員(八並武治君) 財團ノ額ニ付テテハ全部ト云フヤウナ意味ニ御解釋願ヒタノデスカラ、チヨット誤解ヲスルヤウニ思ヒマス

○政府委員(八並武治君) 財團ナラ財團ガ出來ル前ノ事ハ關係ハナイト思ヒマス

○政府委員(八並武治君) 財團ナラ財團ガ出來ル前ノ事ハ關係ハナイト思ヒマス

○政府委員(八並武治君) 左様デゴザイマス

○藤田四郎君 サウシマスト、破產ニ付テノ財團ナラ財團ガ出來ル前ノ事ハ關係ハナイト思ヒマス

○政府委員(八並武治君) サウシマスト、破產ニ付テノ財團ナラ財團ガ出來ル前ノ事ハ關係ハナイト思ヒマス

○藤田四郎君 二條ダケデスカ

○政府委員(八並武治君) 二條ト先づ此財團ノ額ダケガ御承知ノ通り債權者ノ配當額ニナリマスカラ、ソレヲ少シデモ少ナクセタクナ、破產債權者ニ多少デモ多クノモノヲ配當シタクト云フ爲ニヤツタモノデアリマスカラ、財團ニナッタモノカラ僅デモ金ヲ少ナクシタクナイスウ云フ趣旨

デ出来タノデアリマス

○藤田四郎君 御趣意ハ分リマスガ、詰リ  
是ハ債權者ニ對シテノ利益ノ爲ニナサッタ  
モノデセウガ、財團ヲ作ルコトモ矢張リ同  
様ニ費用ガ掛レバソレダケ債權者ノ利益ハ  
多少ニシテモ減ル譯デアリマスカラ、其點  
カラ言ヘバ是モ矢張リ不要ニナサッテモ宜  
サソウニ思ハレルノデスガ、ソレハ違フノ  
デスカ

○政府委員(八並武治君) 御尤ノ御質問デ  
アリマスル、ソレモ削レバマダ徹底シタデ  
ハナイカト云フ御質問ノヤウニ承リマス  
ガ、御尤ナ事ト思ヒマス、併シ御承知ノ通  
リ凡テ民事關係ノ申立ニハ皆幾ラカノ印紙  
ヲ貼用イタシテ居ルノデアリマスカラ、ソ  
レダケハ權衡上其儘存立イタシテ置ク、斯  
ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマス

○藤田四郎君 私ハ是デ質問ヲ止メマス  
○委員長(添田壽一君) ソレデハ此司法省  
關係ノ事ニ付キマシテ御質問ガアリマスレ  
バ此際御願ヒシタ方ガ便利グラウト思ヒマ  
ス、別ニ御質問ゴザイマセヌケレバ便宜上  
矢張樺太長官ノ御出デノ間ニ明治四十年法  
律第二十一號ニ付テ御質問ヲ願シタ方ガ宜  
カラウト思ヒマス

○藤田四郎君 此個人營業ニ付テハ収益四  
百圓ヲ五百圓ニシタ所ガ違テ居ルト云フ  
ノハ、此條ノ何處ニアルノデスカ

○政府委員(豊田勝藏君) 此四十年ノ法律  
第二十一號ハ稅種ダケヲ定メルコトニナッ  
テ居リマシテ、此種目、課率及徵收方法ハ  
命令ニ規定シテアルノデゴザイマス、サッキ  
申シマシタノハ、唯命令ノ内容ニ屬スルコ  
トデハゴザイマスケレドモ、其點ダケヲ御参考ニ  
申上げタノデゴザイマス

○藤田四郎君 サウスルト其命令ノ五百圓  
ニ率ヲ上ゲルト云フコトハマダ決定シタ譯

デナイ、御考ヲ御詰ニナッタノデアリマスカ  
○政府委員(豊田勝藏君) 四百圓ヲ五百圓  
ニスルガ相當ナリト云フ其建前デ豫算ヲ計  
上シテ居ル譯デゴザイマス

○政府委員(八並武治君) 御尤ノ御質問デ  
アリマスル、ソレモ削レバマダ徹底シタデ  
ハナイカト云フ御質問ノヤウニ承リマス  
ガ、御尤ナ事ト思ヒマス、併シ御承知ノ通  
リ凡テ民事關係ノ申立ニハ皆幾ラカノ印紙  
ヲ貼用イタシテ居ルノデアリマスカラ、ソ  
レダケハ權衡上其儘存立イタシテ置ク、斯  
ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマス

○藤田四郎君 私ハ是デ質問ヲ止メマス  
○委員長(添田壽一君) ソレデハ此司法省  
關係ノ事ニ付キマシテ御質問ガアリマスレ  
バ此際御願ヒシタ方ガ便利グラウト思ヒマ  
ス、別ニ御質問ゴザイマセヌケレバ便宜上  
矢張樺太長官ノ御出デノ間ニ明治四十年法  
律第二十一號ニ付テ御質問ヲ願シタ方ガ宜  
カラウト思ヒマス

○藤田四郎君 此個人營業ニ付テハ収益四  
百圓ヲ五百圓ニシタ所ガ違テ居ルト云フ  
ノハ、此條ノ何處ニアルノデスカ

○政府委員(豊田勝藏君) 此個人營業ニ付テハ収益四  
百圓ヲ五百圓ニシタ所ガ違テ居ルト云フ  
ノハ、此條ノ何處ニアルノデスカ

○藤田四郎君 此個人營業ニ付テハ収益四  
百圓ヲ五百圓ニシタ所ガ違テ居ルト云フ  
ノハ、此條ノ何處ニアルノデスカ

○政府委員(豊田勝藏君) 营業収益稅ニ關  
スガ、是ハ前年度ニ於テハ營業収益稅ト云  
フコトニナッタスカラスウ云フコトニナッタ  
ナタノデゴザイマスカ、尙ホ前年度ニ於テ  
モ矢張リ此營業収益稅ト云フ意味デヤッテ  
居ルノデハナイノデスカ

○政府委員(豊田勝藏君) 营業収益稅ニ改  
マリマスト云フト、其年ノ一月頃ニ申告サ  
セマシテ、四月頃ニ決定セネバナラズノ  
デゴザイマス、之ヲ昭和二年度カラ實行ス  
ルコトガ事實上困難デゴザイマスノデ、營  
業収益稅ニ改メマスノハ昭和三年度ノ分カ  
ラ、照和三年ノ一月一日カラ之ヲ施行ス  
ルト云フコトニ致シテ居リマスノデ、其前  
ニ尙ホ營業稅ノ規定ヲ適用スルト云フ意味  
デゴザイマス

○政府委員(豊田勝藏君) 従來ノ營業稅ハ  
内地同様ノ概計標準ニ依シテ居ルタノデゴザ  
セヌガ、マダ十分頭ニ這入ラヌデ御尋ねス  
ルノデスカ、此現在ニ於テ營業稅デヤッテ居  
ルノヲ今度ハ此内地ト同ジヤウナ風ナコト  
ニ改メルヤウナ御趣意ト思ハレルノデス  
ガ、併シサウスルト餘程實際是ハ外ノモノ  
ノ箇條ヲ知ラナイモノデスカラチヨット私  
共意味ガ分ラヌノデスガ、是ハ商人ノ箇條  
デゴザイマセウカドウ云フモノデゴザイマ  
セウカ、營業稅ニ付テモ矢張リ附加稅ヲ取  
テ宜イノデハナイノデスカ

○政府委員(豊田勝藏君) 誠ニ恐縮デゴザ  
リマシタガ、御尋ねノ趣旨ガチヨットハッキ  
リ致シマセヌデアリマシタガ、附加稅ノ御  
話デアタヤウデゴザイマスガ、附加稅ノ關  
稅デゴザイマスルナラバ、營業稅ノ時代ニ  
ルノデアリマス、ソレ等ノ都合ヨリ致シマ

ハ營業稅トシテノ附加稅ヲ認メテ居リマス  
ルシ、營業収益稅ニ改マリマシテモ一定ノ  
限度ノ附加稅ハ認メル積リテ居リマス  
○藤田四郎君 實體ニ於テハサウスルト變  
シテ從前ノ例ニ依リト云フコトカゴザイマ  
シテ居ル譯デゴザイマス

○政府委員(豊田勝藏君) 此昭和二年前ノ營業稅ニ關  
スガ、是ハ前年度ニ於テハ營業収益稅ト云  
フコトニナッタスカラスウ云フコトニナッタ  
ナタノデゴザイマスカ、尙ホ前年度ニ於テ  
モ矢張リ此營業収益稅ト云フ意味デヤッテ  
居ルノデハナイノデスカ

○政府委員(豊田勝藏君) 营業収益稅ニ改  
マリマスト云フト、其年ノ一月頃ニ申告サ  
セマシテ、四月頃ニ決定セネバナラズノ  
デゴザイマス、之ヲ昭和二年度カラ實行ス  
ルコトガ事實上困難デゴザイマスノデ、營  
業収益稅ニ改メマスノハ昭和三年度ノ分カ  
ラ、照和三年ノ一月一日カラ之ヲ施行ス  
ルト云フコトニ致シテ居リマスノデ、其前  
ニ尙ホ營業稅ノ規定ヲ適用スルト云フ意味  
カ

○政府委員(豊田勝藏君) 従來ノ營業稅ハ  
内地同様ノ概計標準ニ依シテ居ルタノデゴザ  
セヌガ、マダ十分頭ニ這入ラヌデ御尋ねス  
ルノデスカ、此現在ニ於テ營業稅デヤッテ居  
ルノヲ今度ハ此内地ト同ジヤウナ風ナコト  
ニ改メルヤウナ御趣意ト思ハレルノデス  
ガ、併シサウスルト餘程實際是ハ外ノモノ  
ノ箇條ヲ知ラナイモノデスカラチヨット私  
共意味ガ分ラヌノデスガ、是ハ商人ノ箇條  
デゴザイマセウカドウ云フモノデゴザイマ  
セウカ、營業稅ニ付テモ矢張リ附加稅ヲ取  
テ宜イノデハナイノデスカ

○政府委員(豊田勝藏君) 营業収益稅トナ  
リマスルト云フト、マア其中ノ主ナル法人  
ノ營業ニ致シマシテモ、事業年度ヲ押ヘマ  
シテ収益ノ如何ヲ考ヘテ課稅スルコトニナ  
ルノデアリマス、ソレ等ノ都合ヨリ致シマ  
シテ、其年ノ一月ニ申告ヲサセマシテ四月ニ  
税ノ調定ヲスルコトニナルノデアリマス、  
デ昭和二年度カラト致シマシテハ實行が困  
難デゴザイマスノデ、二年ダケハ從來ノ分  
ニ置キマシタ、ソレデ昭和三年ノ一月一日  
カラ實施スル、斯ウ云フコトニナッテ居リ  
マス

○委員長(添田壽一君) 樺太ニ付キマシテ  
質問ガゴザイマスレバ便宜上此際願シテ置  
イタ方ガ宜カラウト思ヒマス、ソレ  
ヲ能ク：

○政府委員(豊田勝藏君) 内地ニ於キマシ  
テモ御承知ノ如ク營業稅ノ營業収益稅ニ改  
メタノデゴザイマスガ、同様ナ意味ニ於キ  
マシテ樺太廳ハ從來營業稅デアリマシタモ  
ノヲソレヲ純益ヲ課稅標準トシテ營業収益  
稅ニ改メル譯デアリマス、從テ實體ニ變更  
ヲ生ズル譯デゴザイマス

○藤田四郎君 サウスルト營業稅ガ収益稅  
ニナルト、其収益ノ觀方ナドニ付テモ色ニ  
標準ガ違シテ居ルカラ變ルト云フ意味デス  
カ

○尾崎元次郎君 此第一條中ノ但書ノ神  
社、寺院、祠宇、佛堂ト云フヤウナモノヲ  
千分ノ二十五ト云フコトニ今度ナツテ居ル  
ノデスガ、詰リ減ズルコトハ減ジタヤウデ  
アリマスガ、割合ハ第二條ノ本文ヨリモ餘  
程少ナク減ジテアリマスデスナ、減ズル比  
例ガ…但書ノヤウナコトハ私共考ヘマス  
ニハモウ少シ輕クスル方ガ適當デハナイカ  
ト思ヒマスケレドモ、政府ノ方デハ此割合  
ヲ本文ヨリハ重クシテアリマスノハ是ハド  
ウ云フヤウナ御考デアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 但書ニ於キマシ  
テハ千分ノ二十五ト云フ風ニ致シマシテ現  
行ノ千分ノ三十ヲ僅ニ千分ノ五ダケ下ゲテ  
居ル、然ルニ本文ノ方ハ千分ノ六十ヲ千分  
ノ四十五トシテ、千分ノ十五モ下ダテ居ル、  
權衡ヲ得ナイデハナイカト云フ意味ノ御質  
問ノヤウニ承リマシタガ、是ハ本文ト但書

トハ多少ノ違フ關係デ引下ダテ居ルノデゴ  
ザイマシテ、本文ノ方カラ申上ダマスレバ、  
本文ハ先日モチヨット御説明申上ダマシタ  
ヤウニ、無償名義ニ依リマスト、不動産ノ  
ノハ相續稅法ノ二十三條ニ依リマシテ、親  
族間ニ於キマシテ財產ヲ贈與シタ場合ニ於  
キマシテ不動產並三船舶ト云フモノニ付テ  
ハ相續稅ヲ掛けナイ、其他ノモノニ付テハ  
遺產相續ニ準ジテ課稅ヲスルコトニナッテ  
居ルノデアリマス、不動產、船舶ニ付テハ  
相續稅ガ掛リマセ又、其代リ登錄稅ノ方ニ  
於キマシテ高率ヲ掛けルト云フ仕組ニナッテ  
居リマス、其所ニ千分ノ六十ト云フ高率  
ニナッテ居ルノデアリマスガ、是ガ餘り高率  
ニアリマス爲ニ、即チ有償名義ノ規則、現  
行ノ第四號ニ依リマスルモノガ千分ノ三十  
五ト云フモノデアリマス、現行ニ於キマシ  
テ千分ノ三十五ト千分ノ六十ト云フ開キガ  
アリマスル爲ニ、往々無償名義ノモノヲ有  
償名義ニ名ヲ藉テ千分ノ三十五ノ納稅ヲ  
デアルト云フコトガ明瞭ニ其訴訟等ニ於テ  
分ル場合ニ於テハ千分ノ六十ヲ負擔スル、然  
ラザル場合ニ於テハ千分ノ三十五ト云フ輕  
イモノニナルト云フハ權衡ヲ得マセヌノデ  
アリマスカラ、寧ロ之ヲ成ルベク相續稅ノ  
方ノ關係カラ見マシテ、相續稅ノ方ニ於キ  
ニ於テ、是ヲ成ベク接近セシメテ、サウシ  
テ全然是ニ依テ左様ナモノヲ防止スルコト  
ハ出來ナイト致シマシテモ、多少デモ此弊  
ヲ矯正スルト云フコトガ、負擔ノ衡平ヲ得  
ルダラウト云フ考カラ致シマシテ、千分ノ

四十五ト云フ風ニ相當多ク減稅ヲイタシタ  
ノデアリマス、是ハサウ云フ關係カラ實ハ  
起ツタノデアリマス、但書ノ方ニ於キマシテ  
ハ、是ハ無償名儀ノ方ノ關係カラ見マシ  
テ、現在モ無償名儀ノ方ノ有償名儀  
ノ比較ト致シマジテモ、千分ノ三十五ニ對  
シテ、千分ノ三十ト云フ風ナ關係デアリマ  
ス、ソレ故ニ今度無償名儀ニ於キマシテ  
モ、有償名儀ノ方ハ千分ノ三十三ニナッタ  
ノデアリマスカラ、ソレ等トノ權衡カラ見  
テ先ツ二十五位イ減ラシタラ宜イデアラウ  
ト云フ考カラ致シタノデアリマス、多少此  
本文トハ違フ關係ニアルノデアリマス、併  
シ其關係ヲ假ニ離レマシテモ、唯今御説ニ  
アリマシタヤウニ、神社トカ或ハ寺院等ノ  
寄附デアル場合ニ於テハ、モウ少シ下ダテ  
モ宜イデヤナイカト云フ、御尤モナ御疑問  
ト考ヘラレルノデアリマス、併ナガラ無償  
名儀ニ寄附デアリマスルシ、是等モ餘り輕  
減スルト云フコトモ、是ハ他トノ權衡上如  
何カトモ考ヘラレルノデアリマスカラ、是  
ハ矢張リ適當ノ稅率ニ盛ルコトガ宜シカラ  
ト云フノデ、有償名儀ニ減ジマシタルヤウ  
ナ關係カラ致シマシテ、是ヲ千分ノ二十五  
ト云フ程度ニ致シタ次第デアリマス  
○尾崎元次郎君 本文ノ方ノ御説ハヨク分  
リマシタガ、但書ノ方ハ今ノ御説明ニ依リマ  
スト、詰リ各號ノ原因ニ依ル所有權ノ取得  
ト云フコトニ比シテ、斯ウ云フ割合ニナッ  
タト云フ御説明デアリマスガ、私共トシテ  
ハ斯様ナモノハ、詰リ公營團體ト云フヤウナ  
モノガ多イノデアリマスカラ、モウ少シ輕  
クシテモ宜クハナイカト考ヘテ居リマス、  
併シは此儘ニシテ、ソレカラ此地上權、  
永小作權、又ハ賃借權ノ取得ニ對シテ、賃  
借權ノ取得ハ從來ハ非常ニ輕クナッテ居リ  
マシタガ、今度地上權、永小作權ノ取得ト

同ジャウニナリマスト、是ハ却テ重クナ  
ルヤウナ嫌ハアリマセヌカ  
○政府委員(黒田英雄君) 御説ノ通り二十  
年未滿ニ付キマシテハ、賃借權ハ現行ト同  
ジデアリマス、寧口地上權、永小作權ハ低  
イノデアリマス、賃借權ニ付キマシテハ、  
此十年ヲ越ユルモノニ付キマシテ、即チ  
ルノデアリマス、併シ從來ノ賃借權ト申シ  
マスモノハ、民法ノ規定等ニ依リマシテ、  
石造等ノ堅牢ナル、家屋等ニ付テハ、  
六十年存續期間ガアリ、六十年間權利ガ付  
ケ、或ハ普通木造ニ於テモ三十年間存續ス  
ルト云フ風ニ、非常ニ長期ノ權利ガ確保サ  
レルヤウナ形ニ相成シタノデアリマス、其結  
果現行法ノ立法當時ト今日ト比較シマス  
ト、事情ガ非常ニ變シテ參リマシテ、賃借權  
ノ長期ノモノニ付テハ、相當地上權、永小  
作權ト同様ナ形ニ相成シテ、矢張リソレト  
負擔ヲ増スト云フコトハ適當デアルト云フ  
ヤウニ考ヘマシテ、改正ヲ致シタノデアリ  
ト考ヘテ居リマス

○男爵中島久萬吉君 チヨット御伺ヒシテ  
見タイデスガ、今ノ登錄稅法中改正法律案  
ニ關シマシテチヨット疑點ガアルノデアリ  
テハ登錄稅ニ於テ千分ノ六十ト云フ稅率ヲ  
開始ヲ俟タズシテ贈與スルト云フ虞レガ起  
リマスノデ、ソレヲ防ギマス爲ニ一面ニ於  
テハ登錄稅ニ於テ千分ノ六十ト云フ稅率ヲ  
掛ケテ其負擔ノ均衡ヲ得セシメ、又サウ云  
フ風ナ脫稅ヲ防止スルト云フ主義ニ相成  
テ居ルコトハ唯今御述ベニナリマシタ通リ  
デアリマス、然ルニ之ヲ千分ノ四十五トス  
ルト其弊ヲ助長シヤシナシカ、即チソレニ  
依シテ贈與スルト云フコトヲ押ヘテ居ル  
モノノ、其押ヘガ利カナクナッテ來ル虞ガ  
ナイカト云フ御趣意ノ御尋ねデアルノデア  
リマス、是ハ成程立法ノ趣旨ハ左様ニ思フ  
ノデアリマス、併ナガラ千分ノ六十ヲ以テ  
果シテ其目的ヲ十分達シ得ルカ、幾ラノ稅  
率ガ宜シイノデアルカト云フコトハ、是ハ

財産ノ價格ニ依テ餘程違フノデアリマシテ、完全ニ若シ之ヲ防ガウト思ヒマスルナラバ、高率ニ致サナケレバナラヌ、即チ相續稅ノ最高ノ場合ヲ豫想シテ課率ヲ致シマトハ、是ハ困難デアラウト思フ、併ナガラ左様ナ高率デ以テ、登錄稅ヲ掛ケルト云フ擔ヲシナケレバナラヌト云フコトニナル、相續財產ノ少ナイト云フコトハ、語弊ガアリマスガ、財產價格ノ少ナイモノノ贈與シタ場合ニ於テハ、非常ニ重イ負擔ヲシケナレバナラヌ、詰リ相續稅ノ脫稅ヲ防止スル爲ニ、少財產ノ贈與ニ付テ色々重イ負擔ヲシナケレバナラヌト云フコトニナリマスカラ、ソレハ適當デナカラウト思フノデアリマス、然ラバ幾ラノ程度ガ適當デアルカト云フコトハ、必シモ幾ラデナクチヤナラヌト云フコトハナイノデアリマスルガ、今日ノ千分ノ六十ト云フモノハ一面ニ於テハ先程申上ゲマシタヤウニ、有償歸屬ノ場合トノ間ニ餘リニ開キガ多イ爲ニ、却テ是ガ有償名義ト云フ名ヲ藉ッテ、其間ニ負擔ノ權衡ヲ破ルト云フ虞ガアルノデアリマスカラ、其方ノ點モ考ヘマシテサウシテ一面相續稅トノ關係モ考ヘマスルト云フト、必モ千分ノ六十デナクテモ宜シイ、千分ノ四十五位ナラ適當デハナカラウカト云フコトデ、四十五ト致シタノデアリマス、是ハ相續財產ニ付テ見マスト云フト、チヨット今私ニ調ベタモノ持テ居ルノデアリマスルガ、唯今手許ニ持チマセヌノデ、後デスルガ、適當ナ機會ニ申上ゲマスルガ、初メノ相當額ニ於キマシテハ、却テ此登錄稅ノ方ガト相續稅ヨリモ重モクナルト云フコトニ相成ルノデアリマス、サウシテ千分ノ四十五デ

アリマスト云フト、幾ラデアリマシタカ、六十万圓位ナ價格ニナシテ、初メテ同ジ位ニ相成ッタト思ヒマス、是ハ若シ間違テ居リマシタラ後テ訂正ヲ致シマスガ、左様ナ相續稅ヲ二十三條ニ依テカケテ居リマスモノノ他ノ財產、即チ不動產、船舶以外ノ有價證券ノ贈與等ニ關シマシテ課稅イタシテ居リマス所ノ金額ヲ數年平均シテ見マシテモ、是ハサウ多額ニハ…大キナ金額ニハ上ボツテ居ラナイノデアリマス、ソレ等ノ關係カラ見マシテモ、必シモ此四十五ト云フモノガ稅率ガ輕イト云フコトハ申サレナイヤウニ考ヘルノデアリマス、此現行ノ六十デアリマスト云フト、家督相續ノ場合ニ於テハ約八十万圓ノ財產ニ相成ルヤウデアリマス、ソレ故ニソレヨリ少額ノモノニ付テハ、非常ニ重イ負擔ヲ現在サレテ居ルト云フ結果ニ相成ルノデアリマス、ソレ故ニ是ハ必ずシモ六十ト云フモノヲ維持シナケレバナラヌト云コトハ、理論的ノ根據ハ無イヤウニ考ヘルノデアリマス、今日ノ此相續稅ヲカケテ居リマスル大體ノ狀況カラ見マシテ、四十五デアレバ適當デアラウトシタナラバ宜シイデヤナイカト云フコトモラ然ラバ之ヲ相續稅ヲカケテ、登錄稅ノ方ヲ止メテ仕舞フヨリモ、普通ノ登錄稅ニ致シタナラバ宜シイデヤナイカト云フコトモス、此點ニ付キマシテモ今回ノ改正ニ於テ十分ニ攻究ヲ致シタノデアリマス、然ルニ云フコトニナリマスト云フト、今度登記ヲ致シマスル際ニ於キマシテハ、果シテソレガ親族間ノ贈與デアッタカドウカ、親族間ノモノナデアッタ

カドウカト云フコトヲ調べナケレバナラヌ率ノ税ヲカケナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、ソレハ實際ニ於テ登記所ニ於テ實際ノ登記ノ取扱ノ上カラ見マシテ、登記官吏ガ其贈與ガ果シテ親族間アツタカドウカト云フ風ナコト、即チ相續税ノカヘルベキモノデアルカドウカト云フコトヲ調べルノガ困難デアルノデアリマシテ、實行上ニ於キマシテ誠ニ容易デナイノデアリマス、ソコデ矢張リ從來ノ通り登録税法ニ於テ、之ヲ取ルト云フコトニ致シタノデアリマス、サウナリマスレバ先程申上げマシタヤウニ少シノ財産ノ贈與モアル、大キナレニ依テ脱税ヲ誘致ヲスルト云フヤウナ財産ノ贈與モアルノデアリマスカラ、先ツ千分ノ四十五デアリマスレバ、必シモソニコトヲ考ヘル必要ハナイデアラウト思フノデアリマス、ソレノミナラズ此相續税ニ於キマシテハ、七年間ノ年賦延納ノ便宜ヲ有ツテ居ルノデアリマスガ、登録税ノ場合ニ於テハ即時ニ此全額ヲ納メナケレバナラヌト云フ、不利益ガアルノデアリマス、又相續ノ場合ニ於キマシテハ、此地方税ニ不動産取得税ヲモモノナイノデアリマスケレドモ、此不動産ノ贈與ト云フコトハ、贈與ノヤウナ場合ニ於キマシテハ、此地方税ニ不動産取得税ヲ云フ風ナモノモアルノデアリマスカラ、ソレ等ヲ考へマスト云フト必シモ千分ノ六ナラヌト云フ必要ハナイヤウニ考ヘタノデアリマス、ソレ故ニ有償取得ノ場合ト權衡第デゴザイマス

Digitized by srujanika@gmail.com

午後一時九分開會

○委員長(添田壽一君) 唯今ヨリ引續キ開會ヲ致シマス、登録稅ニ付テノ御質問ガゴザイマスレバ御質疑ヲ願ヒマス、然ラザレバ印紙稅ニ付テノ御質問ヲ願ツタラ如何デスカヒマスガ、改正法規ノ方ニ載ツテ居リマス表ノ乙ノ委託者デスガ、(口)ノ「委託者ガ元本ノ歸屬權利者ニシテ委託者以外ノ者カラ益受權者ナルトキ不動產價格千分ノ四」トアル、若シ(ハ)ノ時ノ場合ニハ變更イタシマシタ時ニ、前ニアル四ト、後ノ四十五ト重複シテ矢張リ登録稅ヲ出サナケレバナラヌノデアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 其場合ニハ唯今

御詰ノ如ク重複ト云フコトニ相成リマス

○田村駒治郎君 アアサウデスカ

○藤田四郎君 印紙稅ハモウ質問ゴザイマセヌ

○委員長(添田壽一君) ソレデハ次ノ砂糖消費稅ノ方ニ移リマス、御尋ネフ願ヒマス

○藤田四郎君 此御改正ニナリマスル第一ノ關稅ト兩方ニ關係シテ居リマセウガ、從來ノ三種、若クハ四種ノ所謂十八號未滿ノ和蘭標本第十八號未滿ニ色付ヲシテ、糖密其他デ色付ヲシテ、二種ニ這入タ、是ハ將來ニ於キマシテ一種三種四種ト、一緒ニナリマシテ、稅率ヲ御變ヘニナリマスルト、第一種ノ方ガ矢張リ又色付ヲシテ、所謂丙ト云フ「其ノ他ノモノ」ニナッテ來タト云フモノガ二圓五十錢、是ハ矢張リ機械デ分密シタモノモ其内ニアルダラウト思フ、之ガ矢張リ色付シテ、其二種若クハ三種ノモノニ這入テ來ルト云フト、是ハ充分取締ガ出來レバ宜イノデスガ、二種三種四種ハ前ノ時ニ取締ヲセナンダカラ、今更途中デ直ス譯ニ行カナクナッタカラ、此改

正ヲ要シタ、今度ハ前三御鑑ミニナリマシテ、十分其取締ヲ加ヘレバ此法規ノ上デサ

ウ云フ恐レガナクナルノデズカ、ソレニ付テ何カ御考ハアルデアリマセウカ

○政府委員(黒田英雄君) 御説ノ通り今迄ハ自然ニ出來マス砂糖ガ現行ノ三種若クハ四種、四種ノ所ガ多イノデアリマスガ、ソ

レニ對シマシテ、色付ヲ致シテ二種トシテ參ル、今度二種、三種、四種ト合セマシテ

一ツニ致シ、稅率ヲ決メルコトニナリマスナラバ、自然ニ於キマシテハ現行ノ四種ト云フ方ニ二十一號内外ノ砂糖ガ參ルコトニ相成ラウト思ヒマス、然ルニ唯今御心配ノヤウニ、是ヲ原料ト致シマスルニ付テハ、或ハ二十一號ト云フモノハ、現行ノ一

種ノ砂糖、一種ノ丙ニナリマスル、十一號未滿ノ砂糖ニ比較イタシマスト、之ヲ原

料糖ト致シマスル上ニ於テハ、非常ニ此製造上ニ於テ一種ニスル方ガ不利益デアリマシテ、出來タ儘ノ、即チ今度改正ノ二種ニナリマスル三圓九十五錢ノ稅金ヲ以テ入レマシタ方ガ餘程利益ニナラウト思ヒマスカ

シテ、出來タ儘ノ、即チ今度改正ノ二種ニナリマスル三圓九十五錢ト云フモノハ丁度十年

五錢ノ開キデアリマスレバ、マアサウ云フ稅ニ於キマシテモ、二圓五十錢ト三圓九十五錢ノ開キデアリマスレバ、マアサウ云フ

コトハ少ナカラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス、萬一サウ云フコトガ起リ、是ガ非常ニ行ハレルト云フ風ナコトニナリマスレバ、又其時ニ於キマシテハ適當ナル方策ヲ講ジナクチヤナラカト考ヘマスガ、今ノ所デハ略

ハサウ心配ノコトハナカラウト考ヘテ居リマス次第デアリマス

○藤田四郎君 唯今假ニ直接消費ノ場合デ見マスルト、消費稅二圓五十錢、ソレカラシテ關稅ガ二圓五十錢、斯ウ云フ譯ニナル、

ガラ一種ニ致シマスト、段々是ガ二種ノ下レヲ利用スル惧レガナキヤト云フ御心配デアリマスガ、一應御尤モデアリマス、併ナ

ノ丙ノ、詰リ十二號トカ、或ハ十三號ト云法ト云フモノハアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 唯今御尋ネハケレドモ、最早ヤ現行ノ三種若クハ四種ト

云フ砂糖ガ出來マスモノヲ殊更ニ一種ニ致シマスト云フト、値段モ餘程違テ參リマスシ、消費者ノ方カラ見マシテモ不利ニナ

リマスルナラバ、殊更ニ一種マデニ下グルトニ

ト云フコトハ、實際ニ於テハ少ナカラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併ナカラ是ハ少

ナリカト云フト、確カニ申上ゲル譯ニハ參

リマセヌノデアリマスガ、色ミナ點ヲ考慮テ何カ御考ハアルデアリマセウカ

○政府委員(黒田英雄君) 御説ノ通り今迄

ハ自然ニ出來マス砂糖ガ現行ノ三種若クハ四種、四種ノ所ガ多イノデアリマスガ、ソ

レニ對シマシテ、色付ヲ致シテ二種トシテ

參ル、今度二種、三種、四種ト合セマシテ

云フ方ニ二十一號内外ノ砂糖ガ參ルコトニ相成ラウト思ヒマス、然ルニ唯今御心配ノヤウニ、是ヲ原料ト致シマスルニ付テハ、或ハ二十一號ト云フモノハ、現行ノ一

種ノ砂糖、一種ノ丙ニナリマスル、十一號未滿ノ砂糖ニ比較イタシマスト、之ヲ原

料糖ト致シマスル上ニ於テハ、非常ニ此製造上ニ於テ一種ニスル方ガ不利益デアリマ

シテ、出來タ儘ノ、即チ今度改正ノ二種ニナリマスル三圓九十五錢ノ稅金ヲ以テ入レマシタ方ガ餘程利益ニナラウト思ヒマスカ

シテ、出來タ儘ノ、即チ今度改正ノ二種ニナリマスル三圓九十五錢ト云フモノハ丁度十年

五錢ノ開キデアリマスレバ、マアサウ云フ

稅ニ於キマシテモ、二圓五十錢ト三圓九十五錢ノ開キデアリマスレバ、マアサウ云フ

コトハ少ナカラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス、萬一サウ云フコトガ起リ、是ガ非常ニ行ハレルト云フ風ナコトニナリマスレバ、又其時ニ於キマシテハ適當ナル方策ヲ講ジナクチヤナラカト考ヘマスガ、今ノ所デハ略

ハサウ心配ノコトハナカラウト考ヘテ居リマス次第デアリマス

○藤田四郎君 唯今假ニ直接消費ノ場合デ見マスルト、消費稅二圓五十錢、ソレカラシテ關稅ガ二圓五十錢、斯ウ云フ譯ニナル、

ガラ一種ニ致シマスト、段々是ガ二種ノ下レヲ利用スル惧レガナキヤト云フ御心配デアリマスガ、一應御尤モデアリマス、併ナ

ノ丙ノ、詰リ十二號トカ、或ハ十三號ト云法ト云フモノハアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 御答ヘ申上ダマスガ、色相ヲ上昇シマスルヤウナ加工ヲ致シマスレバ、是ハ更ニ製造ト見マスルノデアリマス、其場合ニ於テハ更ニ二種ノ砂糖ヲ造ツタモノトシテ課稅スルコトニ相成ルノデアリマス

○藤田四郎君 是ガ製造場デモ設ケテヤリマスルト云フコトデアリマスレバ無論課稅モ致シマセウケレドモ、極ク單純な方法デ

個々ノ少シ大キナ砂糖ノ小賣業者デモヤリ得ルヤウナコトモアラウト思ヒマス、サウ云フモノニ付テノ御取締ハドウデアルカト云フコトガ一ツ、ソレカラ今度之ヲ再製スル、即チ砂糖ノ需要ト云フモノハ丁度十年

云フモノニ付テノ御取締ハドウデアルカト云フコトガ一ツ、ソレカラ今度之ヲ再製スル、即チ砂糖ノ需要ト云フモノハ丁度十年

カ十五年間ニ殆ド倍ニナッテ居ルト云フヤウナコトデゴザイマスシ、唯今ノ所デハ略ボ或ハ内地產デ、之ヲ假ニ其中カラ外國へ輸出スルコトガナカッタナラバ、或ハ略ボ内地ノデ行ケルカモ知レマセヌガ、内地ノ砂糖ノ製造ト云フモノハサウ澤山ニ種ヤスト云フコトハ出來ナイ、或ハ砂糖ノ需要ノ進歩ト、ソレカラ生産ノ進歩トハ釣合ヒガ取レヌモノガアルト云フ場合ニ於キマシテハ、何レ此砂糖ノ輸入ヲシテ生産スルト云フコトモアルヤウニ思フ、現ニ今迄アルノデアリマスカラシテ、色付ノ十五號トカ何トカ云フ所ノモノヲ以チマシテ、一種デ以テ入レテ、サウシテ今ノニ・是マデアッタヤウナ網ヲ潛テ行クヤウナコトガ起ルト云フコトハ先刻ナイト云ハレマシタケレドモ、既ニ三圓九十五錢ノ差ヲ生ジテ居ルノデアリマスカラ、出來得ルト思ヒマスノデスガ、詰リ私ハ此輸入ノ時ニ之ニ付テ十分嚴密ナル検査ヲ爲サルコトガ必要デナライダラウカドウカト云フ意味デ御尋ネシテ居ルノデアリマス

○政府委員(黒田英雄君) 色付ケ致シマス  
ルコトガ今後絕對ニナイトカ云フコトヲド  
ウモ申上ダル迄ノ確信ハ實ハアリマセヌノ  
デゴザイマスガ、ソレハ或ハ場合ニ依リマ  
スレバ多少サウ云フコトモ起ラヌコトモナイ  
トハ思ヒマスノデアリマス、併シ大體ニ於  
キマシテ唯今ハ四種ノモノヲ二種マデ色付  
ケヲシテ居ル、之ヲ原料ト致シマスレバ殊  
更ニ今度一種マデニ色付スルト云フコトハ  
ナクシテ、二種ノ砂糖ガ二種デアリマ  
セヌ、今度改正ノマニア二種ニナリマス、是  
ガ三圓九十五錢デアリマスレバ、ソレヨリ  
以下ニ色付ケシテ製造ヲ不利ニスルト云フ  
コトハマアナカラウカト云フコトヲ申上ダ  
タ次第デアリマスルガ、唯今御詫ノヤウ  
ニ若シ付ケテ來タ時ニ稅關デドウスルカト  
云フ御詫デゴザイマスルガ、ドウモ此製造  
所ニ於キマシテ左様ナコトヲ致シマスルト  
云フト、今日色相課稅ヲ致シテ居リマスル  
關係上ドウモ已ムヲ得ナイノデアリマシ  
テ、サウ云フコトガ果シテ御心配ノヤウニ  
非常ニ多ク起リマスルト云フコトニ相成リ  
マスレバ又多少稅率ノ點ニ付テモ亦分類ノ  
點ニ付テモ攻究ヲシナケレバナラヌコトニ  
自然相成ラウカト考ヘマス、唯今ノ所デハ  
此分類ニ依リマスレバ先ゾ大體左様ニ一種  
マデモ色付ケヲスルト云フコトハ特殊ノ場合  
デアル、即チ布哇島ニ於キマシテ出來マス  
ルモノガ二十一號内外ノモノデアリマスカ  
ラ、ソレヲ更ニ色付ヲスル、唯今御詫ノヤ  
ウニ十五號内外位ノ所ノモノデアリマスト、  
或ハ色付ヲスルモノガ起ラヌモ限ラヌノ  
デアリマスガ、付ケマスモノガモット上ノモ  
ト云フ風ニ實ハ考ヘマシテ居ルヤウナコトガ  
デアリマス、果シテ御心配ノヤウナコトガ  
非常ニ多ク起リマスレバ更ニ考ヘナクチャ  
ヤ

○藤田四郎君 大體此砂糖ニ付テノ關稅ノ  
省デモ御研究ニナッタヤウニ聞イテ居ルノ  
御決定ニナル時ニハ、和蘭標本ニ依ルカ、  
又他ノ標本ニ依ルカト云フコトハ隨分大藏  
居ルノデアリマシテモ、殊ニ其色付ヲシテ  
來ルト云フモノハ色相ノ中ニハ這入ラヌノ  
デアラウト思ヒマスガ、矢張リ最初ノヨリ  
サウ云フコトハ色相ヲ色ヲ見タ所ノ色ガ是  
ダカラト云フノデ、スクソレデ一號トカ二  
號トカ、一種トカ二種トカ云フヤウナ區別  
ニナラヌデモ、這入ル時ニ於テ是ハドウ  
モ既ニ色付ヲシタモノト見ルナラバ、直チ  
ニ矢張リ第二種ノ方ノ稅ヲ御掛けニナッテ  
差支ナイモノト思ヒマスガ、其邊ハ如何デ  
アリマセウカ

○政府委員(黒田英雄君) 此色付ヲシマシ  
タモノト、製造工程ノ中ニ於キマシテ詰リ  
操作上ニ於テ出シマスルモノト、中ニ其區  
別ガ困難ノヤウニ考ヘルノデアリマシテ、  
ドウモ色付ヲシテ、所謂色付シテ參リマス  
ルト云フト、ドウモ其現レテ居ル色相ニ依  
テ之ヲ鑑定スルト云フコトニナルコトハド  
ウモ已ムヲ得ナイヤウニ考ヘテ居ルノデア  
リマス、ソレ故ニ是ハ果シテ出來タモノノ  
結果サウ云フ風ナコトガ非常ニ起ラテ參ルヤ  
ウナコトデ、殊更ニ前ノモノニ依シテ課稅ス  
ルト云フコトハ、今日ノ仕組デハドウモ困  
難ノヤウニ考ヘマスルカラ、若シ萬一其結  
果サウ云フ風ナコトガ非常ニ起ラテ參ルヤ  
ウナコトデモアリマシタナラバ、其時ニ於  
テハ更ニ之ニ對スル策ヲ講ジナケレバナラ  
ニテ程減ル、關稅デ二百四十八殖ヤシテ居  
○藤田四郎君 此砂糖ノ消費稅ト云フモノ  
ハ大體ニ於テ御廢シニナッテ四百十三万  
圓程減ル、關稅デ二百四十八殖ヤシテ居  
リマス

○藤田四郎君 次ハドレデスカ  
○委員長(添田壽一君) 關稅法ノ例ノ「タ  
ピオカ」其他ノ分デアリマス、詰リ關稅定  
率法第二十二號中改正云々トアルモノニア  
リマス

○藤田四郎君 甚ダ二重ニナッテ恐レ入り  
マスガ、第二十二號ハ「タピオカ」デスカ、  
一寸二十二號ト五十三號ヲ何ト何ダト云フ  
コトダケ

○藤田四郎君 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○藤田四郎君 次ハドレデスカ

○委員長(添田壽一君) 關稅法ノ例ノ「タ  
ピオカ」其他ノ分デアリマス、詰リ關稅定  
率法第二十二號中改正云々トアルモノニア  
リマス

○政府委員(黒田英雄君) 稅表ノ三百四十  
三ト申シマスルノハ、別號ニ掲グザル布帛  
製品、布帛デ持ヘタモノデアリマス、ソレ  
ヲ分ケマシテ綱製物トカ其他ト云フコトニ  
分ケテ居ルノデアリマスガ、其ニノ内トア  
ル、差引百五十萬圓ノ減收ニナル譯ニチヨ  
ト拜シマスルノデスガ、之モ矢張リ砂糖ト  
云フモノハ必用品デアルト云フコトカラ、  
云ルダケ下ダラレルダケ下ダルト云フ程度  
ナラヌカト考ヘテ居リマス  
○藤田四郎君 大體此砂糖ニ付テノ關稅ノ  
省デモ御研究ニナッタヤウニ聞イテ居ルノ  
御決定ニナル時ニハ、和蘭標本ニ依ルカ、  
又他ノ標本ニ依ルカト云フコトハ隨分大藏  
居ルノデアリマシテモ、殊ニ其色付ヲシテ  
來ルト云フモノハ色相ノ中ニハ這入ラヌノ  
デアラウト思ヒマスガ、矢張リ最初ノヨリ  
サウ云フコトハ色相ヲ色ヲ見タ所ノ色ガ是  
ダカラト云フノデ、スクソレデ一號トカ二  
號トカ、一種トカ二種トカ云フヤウナ區別  
ニナラヌデモ、這入ル時ニ於テ是ハドウ  
モ既ニ色付ヲシタモノト見ルナラバ、直チ  
ニ矢張リ第二種ノ方ノ稅ヲ御掛けニナッテ  
差支ナイモノト思ヒマスガ、其邊ハ如何デ  
アリマセウカ

○政府委員(黒田英雄君) 此色付ヲシマシ  
タモノト、製造工程ノ中ニ於キマシテ詰リ  
操作上ニ於テ出シマスルモノト、中ニ其區  
別ガ困難ノヤウニ考ヘルノデアリマシテ、  
ドウモ色付ヲシテ、所謂色付シテ參リマス  
ルト云フト、ドウモ其現レテ居ル色相ニ依  
テ之ヲ鑑定スルト云フコトニナルコトハド  
ウモ已ムヲ得ナイヤウニ考ヘテ居ルノデア  
リマス、ソレ故ニ是ハ果シテ出來タモノノ  
結果サウ云フ風ナコトガ非常ニ起ラテ參ルヤ  
ウナコトデ、殊更ニ前ノモノニ依シテ課稅ス  
ルト云フコトハ、今日ノ仕組デハドウモ困  
難ノヤウニ考ヘマスルカラ、若シ萬一其結  
果サウ云フ風ナコトガ非常ニ起ラテ參ルヤ  
ウナコトデモアリマシタナラバ、其時ニ於  
テハ更ニ之ニ對スル策ヲ講ジナケレバナラ  
ニテ程減ル、關稅デ二百四十八殖ヤシテ居  
リマス

○政府委員(黒田英雄君) 二十二號ノ中ノ  
一圓ヲ一圓八十八錢ニ直ストアリマスノハ、  
「タピオカ」「マニオカ」及ビ「セーゴ」甲、粉  
ガ、玉蜀黍ノ粉デアリマスノヲ二圓三十錢ニ直シマスルノハ、矢張リ同ジ二十  
二號ノ中ニ直五デアリマス、五ノ「コンスター  
ーチ」デアリマス

○藤田四郎君 「コンスター」ト云フノハ  
ドウ云フノデアリマス

○政府委員(黒田英雄君) 假名デアリマス  
ガ、玉蜀黍ノ粉デアリマス、ソレカラ五十  
三條ハ「バター」、人造「バター」及ビ「ギー」  
假名デゴザイマス

○藤田四郎君 「ギー」ト云フノハドウ云フ  
ノデスカ

○政府委員(黒田英雄君) 「ギー」ト申シマ  
スノハ是ハ印度ノ水牛デアリマスルガ、印  
度ノ牛ノ乳カラ持ヘマシタ矢張リ「バター」  
デアリマス

○藤田四郎君 是ハ宜シウゴザイマス  
ノデスカ

○政府委員(黒田英雄君) 「ギー」ト申シマ  
スノハ是ハ印度ノ水牛デアリマスルガ、印  
度ノ牛ノ乳カラ持ヘマシタ矢張リ「バター」  
デアリマス

○藤田四郎君 私ハ是ハ途中デ能ク承リマ  
セヌデシタガ、併シソレハ皆様ニ御迷惑デ  
スカラ宜シウゴザイマスガ、承テ居ル中  
デ此乙號ノ輕減ニナリマス方デ布帛製品ト  
云フノハ是ハドウ云フニ布帛製品ニ油ヲ  
ドウカスルノデスカ、一寸其意味ガ分ラナ  
イハ三百四十三デアリマス

○政府委員(黒田英雄君) 稅表ノ三百四十  
三ト申シマスルノハ、別號ニ掲グザル布帛  
製品、布帛デ持ヘタモノデアリマス、ソレ  
ヲ分ケマシテ綱製物トカ其他ト云フコトニ  
分ケテ居ルノデアリマスガ、其ニノ内トア

リマスルノハ即チサウニ云フ贅澤ナ布帛製品  
デナイ、其他ニ當リマスル物デアリマス、  
サウシテ之ニハ三割五分ノ從價税ヲ掛ケテ  
居ルノデアリマス、現行法ニ於キマシテ  
○藤田四郎君 ソレハ金デ凡ソドウニ云フ風  
ニナリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 是ハ總テノ布帛  
製品、色ニナ種類ニ依リマスモノデアリマ  
スカラ違ヒマスルガ、茲ニ目標ト致シテ居  
リマスル油ヲ使ヒマシタ布帛製品デアリマ  
スルトニ云フト、大體……是ハ關東州カラ參  
リマスルモノニ付キマシテ現今ハ三割五分  
ノ從價税ヲ掛ケマスノデアリマス、其稅額  
ハ二十四五圓ニ相成ツテ居ルト思ヒマス、百  
斤ニ付キマシテ……然ルニ是ハ關東州カラ  
參リマスル物ハ此布帛製品ノ中デ綿織物ト  
カ若クハ麻織物ニ對シマシテ油ヲ加工致シ  
タモノデス、詰リ油ノ布デアリマス、是ハ  
多ク鐵道ノ貨車等ノ上覆ヒニナルモノデア  
リマス、孔ヲ縁ニ開ケマシテ、ソレニ紐ヲ  
通シマシテ出來テ居リマスルカラ、是ハ單  
純ナル油布デナクシテ製品ニ相成ルノデア  
リマス、ソコデ今申上ダルヤウナ稅ガ掛カ  
ルノデアリマスルガ、是ハ關東州デ出來マ  
スル物ハ非常ニ此寒氣ニモ耐ヘマスルシ、  
勿論防水ノ上ニモ非常ニ宜イト云フコトデ  
アルノデアリマス、ソコデ是ハ内地ニ入レ  
マシテ獎勵スルコトガ適當ト考ヘルノデア  
リマスガ、是ハ無稅トシテ仕舞ヒマスル  
ト、綿織物ヲ使ヒマシタ方ハ是ハ無稅デ宣  
シノデアリマス、ソレ故ニ御手許ノ案デ  
御覽ニナリマスルヤウニ前ニ三百四十三ト  
シテ……甲號ノ内ニ左ノ一項ヲ加ヘルト云  
フモノガアリマスガ、其方ハ無稅ニ致シテ  
居ルノデアリマス、綿布ヲ使ヒマシテ綿布  
ニ油ヲ付ケマシタモノデアリマス、ソレハ  
綿布ヲ原料トシタモノデアリマスカラ、是  
是

ハ無稅ニシテ宜シイ、然ルニ此乙號ノ方ニ掲  
ダマシタモノハ亞麻布ヲ原料トシタモノ、  
亞麻布ニ多少、他ノモノガ付イテ入ッテモ宜  
モノデアリマス、亞麻布ニ付テハ内地ヘ參  
リマスモノニ付テハ織物消費稅ガ課カル、  
關東州ニ參リマスモノハ免除スルトニ云フコ  
トニナツテ居リマスカラ、内地デ掛ヘルマス  
トニ云フト織物消費稅ノ課タ原料デ掛ヘル  
コトニナル、關東州デ、織物消費稅ハ免除  
サレテ掛ヘルコトニナルカラ、之ヲ無稅ニ  
スルト内地トノ競爭上内地ガ不利ニナル、  
丁度此二圓八十五錢ト云フモノガ織物消費  
稅ニ當ル分デアリマス、即チ一割ノ織物消  
費稅ヲ課ケルコトニナツテ居リマスカラ亞  
麻布ノ最モ織物消費稅ノ高ク課カルモノニ  
用ヒマシタ場合ハ大體一圓八十五錢ニナ  
ル、ソレデ消費稅ニ當ル分ヲ關稅トシテ取  
ルトニ云フ趣意デ極メタノデゴザイマス  
○藤田四郎君 關東州ハ朝鮮臺灣ト同ジヤ  
ウニ海關稅ノ關係デハ内地ト同様ニナツテ居  
リマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 關東州ハ無稅デ  
アリマス、内地トハ違ヒマシテ稅ハ取りマ  
セヌ輸入稅ヲ……

○藤田四郎君 コチラへ來ルノニモ……  
○政府委員(黒田英雄君) コチラニ參リマ  
スノハ外國ト同ジコトデ一般ノ稅率ヲ適用  
シマス

○藤田四郎君 此チヨイ～アルヤウデス  
ガ、私ノ承々タ所ニ見マスト、今ノ乙號ノ百  
二十ノ内ニ所ニ關東州ノ生產ニ係ル云々ト  
云フコトガアル、斯ウ云フ風ノコトヲ書キ  
マシテ差支ナインデゴザイマセウカ、即チ  
何處カラ來ルトニ云フコトデ、外國ノモノガ  
トナリマス、斯ウ云フ風ノコトヲ書キマセウ  
カ、エライ著シキ差が起ラナケレバ、宜シ  
テ、サウシテソレヲ原料トスルトニ云フコト  
ハ、是ハ油ヲ餘所カラシテ持ツテ參リマシ  
テ、サウシテソレヲ原料トスルトニ云フコト  
ハ、是ハ油ヲ餘所カラ油ヲ内地ニ入レ  
マスニハ稅ガ課カル譯デス、關東州ニ入り  
マスモタハ先程チヨット申上ダマスヤウニ  
關東州ニ入ルモノハ無稅ニナツテ居リマス  
モノデスカラ、ソレ故ニ關東州ニ持ツテ來テ  
マスモタハ先程チヨット申上ダマスヤウニ  
關東州ニ入ルモノハ無稅ニナツテ居リマス  
モノデスカラ、ソレ故ニ暫クハマダ一般ト致  
排ヘルテ内地ニ持ツテ來ルトニ云コトニナルト稅  
ガ課カラナイ、課カルベキモノガ、課カラ  
ナイデ濟ムト云フコトニナルカラ、ソレデ  
ハ内地トノ競爭上内地ガ不利ニナル、ソコ  
ガ課カラナイ、課カルベキモノガ、課カラ  
ナリマスレバ、是ハ元ニ輸入關稅ガ課カルベ  
キデアリマセヌ、關東州デ出來タモノヲ、之  
デ關東州自體デ出來タモノトニ云フコトニナ  
リマスレバ、是ハ元ニ輸入關稅ガ課カルベ  
キデアリマセヌ、關東州デ出來タモノヲ、之  
ヲ免稅シマスル趣旨ハ内地ニ於キマスル供  
給ヲ潤澤ニシ關東州ニ於ケル生產モ容易ニ  
ナルトニ云フ趣旨デ之ヲ免稅イタスノデアリ  
マスカラ、外國カラ持ツテ來テアスコデ  
排ヘタ物ヲ免稅スルトニ云フコトハ是ハ内地  
トノ關係上ニ於テモ宜クナイト考ヘマス、  
ト云フヤウナ風ナコトハナイノデアリマ  
ス、是ハ既ニ大正十四年ニ之ヲ極メマス際  
ニ特ニ稅ヲ免ジマシテモ、他トノ關係、即  
チ通商航海條約等ニ依ツテ他ノ均霑ヲスル  
ト云フヤウナ風ナコトハナイノデアリマ  
ス、是ハ既ニ大正十四年ニ之ヲ極メマス際  
ニ於テソレ等ノ點ハ十分考究イタシタノデ  
アリマスガ、關東州トノ間ニ設ケマスコト  
ハ是ハ決シテ他ノ諸國ガ之ニ均霑スルト云  
フ問題モ起ラナイトニ云フコトノ考究ノ結果  
結論ヲ得マシタノデアリマス、ソレデ此現  
行法ガ制定サレマシタノデアリマス、從ツテ  
現行法ニ於テ免除シテ居リマスガ、他ノ諸  
國ハ是等ニ何等均霑モシテ居ラヌノデアリ  
マス

○藤田四郎君 御趣意ハ能ク分リマシ  
ガ、エライ著シキ差が起ラナケレバ、宜シ  
テ、サウシテソレヲ原料トスルトニ云フコト  
ハ、是ハ油ヲ餘所カラ油ヲ内地ニ入レ  
マスニハ稅ガ課カル譯デス、關東州ニ入り  
マスモタハ先程チヨット申上ダマスヤウニ  
關東州ニ入ルモノハ無稅ニナツテ居リマス  
モノデスカラ、ソレ故ニ暫クハマダ一般ト致  
排ヘルテ内地ニ持ツテ來ルトニ云コトニナルト稅  
ガ課カラナイ、課カルベキモノガ、課カラ  
ナリマスレバ、是ハ元ニ輸入關稅ガ課カルベ  
キデアリマセヌ、關東州デ出來タモノヲ、之  
デ關東州自體デ出來タモノトニ云フコトニナ  
リマスレバ、是ハ元ニ輸入關稅ガ課カルベ  
キデアリマセヌ、關東州デ出來タモノヲ、之  
ヲ免稅シマスル趣旨ハ内地ニ於キマスル供  
給ヲ潤澤ニシ關東州ニ於ケル生產モ容易ニ  
ナルトニ云フ趣旨デ之ヲ免稅イタスノデアリ  
マスカラ、外國カラ持ツテ來テアスコデ  
排ヘタ物ヲ免稅スルトニ云フコトハ是ハ内地  
トノ關係上ニ於テモ宜クナイト考ヘマス、  
ト云フヤウナ風ナコトハナイノデアリマ  
ス、是ハ既ニ大正十四年ニ之ヲ極メマス際  
ニ特ニ稅ヲ免ジマシテモ、他トノ關係、即  
チ通商航海條約等ニ依ツテ他ノ均霑ヲスル  
ト云フヤウナ風ナコトハナイノデアリマ  
ス、是ハ既ニ大正十四年ニ之ヲ極メマス際  
ニ於テソレ等ノ點ハ十分考究イタシタノデ  
アリマスガ、關東州トノ間ニ設ケマスコト  
ハ是ハ決シテ他ノ諸國ガ之ニ均霑スルト云  
フ問題モ起ラナイトニ云フコトノ考究ノ結果  
結論ヲ得マシタノデアリマス、ソレデ此現  
行法ガ制定サレマシタノデアリマス、從ツテ  
現行法ニ於テ免除シテ居リマスガ、他ノ諸  
國ハ是等ニ何等均霑モシテ居ラヌノデアリ  
マス

○同ジモノガアレバ矢張之ニ依テ來ルト云  
外國ト同ジコトニ見レバ、其特別ノ規定ト  
フコトガ起ルコトガアリ得ルト思ヒマスル  
ガ、其御考究ニナリマシタ根據ハ何處ニ在  
ルノデスカ、内地ト見ル譯ニ行カヌデセウ  
○政府委員(黒田英雄君) チヨット是ハ速  
記ヲ…

○委員長(添田壽一君) 速記ヲ…  
(速記中止)

○藤田四郎君 唯今政府委員ノ御説明デ了  
解イタシマシタデスカラ、此質問ハ私ハ是  
デ止シマス

○委員長(添田壽一君) 他ニ御質問ガゴザ  
イマスナラバ此際願ヒタイモノデゴザイマ  
ス

○藤田四郎君 農林省ノ當局ハ…  
○政府委員(黒田英雄君) 昨日御質問ガア  
リマシタ産業組合ノ數並ニ解散ヲ命ジタリ  
シタヤウナモノハドレ位アルカト云フヤウ  
ナ風ノ御尋ネデアリマシタガ、農林當局ニ  
付テ調べマシタ所ガ十四年末ノ産業組合ノ  
數ハ一万四千五百十七アルノデアリマス  
ガ、十四年以來之ガ監督獎勵ノ爲ニ特別ノ  
職員ヲ農林省ニ設置イタシマシテ、監督ニ  
努力致シテ居ルサウデアリマス、尙ホ十四  
年末ニ解散ヲ命ジマシタモノノ中デ事業ノ  
繼續困難ト認メマシタモノガ五百十六アル  
マス、ソレカラ今朝ホド…ソレデハ農林  
正ノ行爲ガアリ、公益上有害ナリト認メテ  
解散シタモノガ八十九アルト云フコトデアリ  
マス、ソレカラ今朝ホド…ソレデハ農林  
次官ガ參リマシテカラ…

○委員長(添田壽一君) ソレデハ小山政務  
次官ガ御出席ニナリマシタカラ、小山政務  
○政府委員(小山松壽君) 産業組合ノ監督  
ノコトニ付テ御尋ネガアリマシテ、大體ノ

コトハ大藏政府委員ヨリ御答申上ゲテア  
ル譯デアリマスガ、尙ホ私ヨリ一應其状態  
ヲ申上ゲマス、申上ゲル迄モナク産業組合  
マスガ、十四年末迄ノ組合ノ監督ニ付キマ  
シテ命令ヲ以テ解散ヲ命ジマシタモノガ五  
百九十六アリマス、而シテ其中デ事業繼續  
ガ困難ト認メマシタモノニ付キマシテ、唯  
今申上ダマシタ解散命令ヲ致シマシタモノ  
ガ五百十六アリマス、ソレカラ組合ノ精神  
ニ合致セザルモノ若クハ、不正ノ行爲アリタ  
ルモノト認メマシテ處分ヲ致シマシタモノ  
ガ八十アリマス、而シテ組合ハ一万四千五  
百十七アルノデアリマシテ、其中唯今申上  
ダマシタ五百九十六ノ組合ヲ處分ヲイタシ  
マシタ譯デアリマスガ、唯今申上ダマシタヤ  
ウニ明治三十三年以來今日ニ至リマス間ニ  
於テ二十數年間ヲ經過イタシテ居リマス  
トデアリマスガ、當局ニ於キマシテハ平素  
十分ナル監督ヲ怠テ居ル譯デハアリマセ  
ヌ、十四年ニ産業組合課ノ一課ヲ新ニ設ケ  
マシテ茲ニ本省ニ書記官一名、事務官七名、  
判任官十四名、而シテ區域ヲ五區三分ナマ  
シテ、漸次監督ノ實ヲ擧ゲルコトニ努力イ  
タシテ居リマス、尙ホ申ス迄モナク地方費  
カリノ經費ヲ支出イタシテ十分ニ監督イタシテ居  
ル譯デアリマス、而シテ豫テ御協賛ヲ得マ  
シタ農村振興費ノ中ニ於テ十二万五千圓ハ  
カリノ經費ヲ支出イタシマシテ、以上申上  
ダマスル所ノ監督助長ノ督勵ヲ致シテ居ル  
シタ農村振興費ノ中ニ於テ三百名居リマス、ソ  
レゾレ擔當イタシテ十分ニ監督イタシテ居  
府縣ニ居リマスノデ、主事ハ凡ソ百名位ト  
思ヒマス、主事補ハ約三百名居リマス、ソ  
譯デアリマス、大體監督上ノ御尋ニ對シマ

ト思フノデアリマス、併ナガラ實例ト致シテ居ル所ノ銀行ガ一朝破綻イタシタト云フヤウナ場合ニ、其損害ガ其組合員ニ及シダレバ預金ヲ致シマシタ關係ニ依テ、左様ノ事能ガ起リマシタ例モアルノデアリマスガ、唯ノ預金關係ニ非ズシテ、組合カラ其銀行ニ預金ヲ致シマシタ關係ニ依テ、左様ノ事能得ヌコトデアラウト思ヒマス、但シ此信田組合ノ預金ノ事ニ付テ一般金融機關ニ携人御尋ノ預金争奪ト云フヤウナコトハアリノ本會議ニ於テ議員カラノ御質疑ガアリテ居ル方カラ動トモスレバ御尋不ノヤウナル譯デ、即チ理想トシテハ自治的ニ此機關ノ發達運用ヲ期シタイ、信用組合ノ本來ノ性質カラ見テ左様ニ自分ハ理想的ニシタイト思テ居ルガ、併ナガラ今日ノ場合ニ於テハ尙ホ此機關ニ付テ相當督勵ヲ致シテ居セシテ組合員ノ相互ノ間ノ金融機關トシシテアルト云フ大體ノ御答大臣ヨリ申上ゲテアッタノデアリマスガ、唯今申上ゲタヤウニ信用組合ガ一ツノ金融機關トシ五二依テ農村金融ノ圓滑ヲ期スルト云アトニ於テ一部ノ聲ノアリマスヤウナ弊害ガアリルトハ考ヘテ居リマセベ

コトガナイカトニ云フコトヲ懸念シテ御尋不

スル譯デアリマス

○政府委員(小山松壽君) 前段ニ監督及ビ

其機關ヲ申上ダマシタガ、尙ホ唯今御尋不

ノヤウナ點ニ付キマシテハ、當局ニ於キマ

シテモ十分ニ注意致シマシテ、殊ニ此產

業組合ノ監督官、地方ニ居リマス監督官ノ

俸給ヲ國庫支辨ニシテ貴ヒタイト云フヤウ

ナ陳情モアリマス、是ハ思フニ地方支辨デ

アリマスレバ偶、其背後ノ勢力ニ依テ職

務ノ執行ニ懸念アリト云フヤウナコトノ爲

デアラウト考ヘマシテ、財政ガ許セバ此點

ニ付テハ當局モ何トカ其陳情ノ精神ニ添フ

ヤウニモ致シタイト年來考ヘて居ル譯デア

リマスガ、何分財政上ノ關係ヲ以テ尙且ツ

此事ヲ致シマスレバ、他ノ地方ノ在官者ト

ノ權衡等モアリマシテ、其實現ヲ致サナイ

ノデアリマスガ、唯今申上ダマスヤウナ趣

旨ニ於テ、又唯今申上ダマシタヤウナ人員

ノ配置ニ於テ十分ニ當局ト致シマシテハ其

監督ノ實ヲ舉グ御心配ノヤウナ點ニ付キマ

シテハ其責任ヲ盡スヤウニ心掛ケテ居ル積

リデアリマス

○男爵中島久萬吉君 幸ヒ小山次官ガ御出

デゴザイマスカラ、チヨット御伺ヒシテ

見タイノデゴザイマスガ、先刻此登録稅法

中改正法律案ノ衆議院ノ修正案ニ伴ヒマシ

テ、チヨット参考ニ伺シテ見タイト思ヒマス

點ガアルノデアリマスガ、若シ御調べガゴ

ザイマシタラ御渡ラシヲ願ヒタイ、大體此

全國ニ於ケル自作農ノ收入率デゴザイマス、唯今ソレヲ今日ノ此日當ト云フヤウナ

モノニ換算イタシマスルト、略ドレ位ナ

平均ニナッテ居リマセウカ、チヨットソレヲ

伺ヒタイデス

○政府委員(小山松壽君) 是ハ農林省ト致

マシテ、此農家經濟ノ調査ヲ致シテ大凡農

村ニ於ケル收支關係等ソレトモ調査ヲ致シ

タモノモアリマスシ、又帝國農會ヲ通ジマ

シテ帝國農會ニ唯今御尋ノヤウナ點ヲ調査

非當ニ困難ナ問題デアリマシテ、例ヘバ一

イタシタモノモアリマスガ、何レ此コトハ

ノ生活ヲ維持シテ行クニハ幾何ノ耕作地ヲ

必要トスルカ、五人トシタ場合ニ於テ其一

戸ノ前段申上ダマシタ幾何ヲ必要トスル

カ、而モ其中ノ勞力ノ關係カラ申シマスレ

バ、老幼男女ノ別ニ於テ、其勞力ヲ幾ラニ

考ヘルカト云フヤウナコトガ、極メテ複雜

ナ調査ヲ要スル譯デアリマス、此自作農ニ

付テノコトモ無論調査ヲ致シテ居リマス

ガ、唯今精密ナ數字ヲ此處デ申上ダマスル

ニハ、丁度材料ヲ持テ參ッテ居リマセヌガ

御尋ノ點ニ付キマシテハ出來ルダケ調査

シテ、書面ヲ以テ御答ヲ申上ダマシタラ如

何デアリマスカ

○男爵中島久萬吉君 有難ウゴザイマス、

結構デゴザイマス

○藤田四郎君 モウ質問モ大體盡シマシタ

ヤウニ思ヒマス、尙ホアリマスカラ、更ニ

セヌガ、是レ位ニ止メマシテ、討論決議ノ

方ニ移リマシテハ如何デゴザイマス

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(添田壽一君) 唯今藤田委員ノ討

論ニ移ルト云フコトニ付テハ御異議ゴザイ

マセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(添田壽一君) ソレデハ是カラ討

論ニ移リマス、先ツ第一ノ登録稅法中改正

法律案ニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○藤田四郎君 是ハ原案ガ衆議院ノ修正

ゴザイマスナ、サウ心得テ宜シウゴザイマ

スカ

○委員長(添田壽一君) 左様デゴザイマス

○藤田四郎君 大體本案ニ付テ私ハ異議ハ

ゴザイマセヌガ、委員外ノ田中議員カラ御

尋ネニナリマシタル山林所得ト普通所得、

所謂第三種所得ニ付キマシテ、或例ヲ引カ

レマシタガ、之ニ付キマシテハ却テ稅率

ヲ從來ヨリモ高クスル、又山林ノ課稅ノ方

ナツテ、是ハ斯ウ云フヤウナ課稅ニナルノ

免レナライデハアリマセウガ、既ニ此諸稅

ト云フモノハ第二次ノ稅制整理ト云フ御趣

意ニ依テ御提出ニナリマシタモノト心得

テ居リマスカラ、之ニ付キマシテハ政府ニ

付テノコトモ無論調査ヲ致シテ居リマス

ガ、唯今精密ナ數字ヲ此處デ申上ダマスル

ニハ、丁度材料ヲ持テ參ッテ居リマセヌガ

希望ヲ以チマシテ、本案全部ニ贊成イタシ

マス

○委員長(添田壽一君) 今登録稅法中改正

法律案ノ討議ニ移ッテ居リマスカラ、更ニ

御意見ヲ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、登

錄稅法中改正法律案ニ付キマシテ藤田委員

ノ、即チ衆議院修正通りニシテ、唯山林所

得ト普通所得トヲ合セテ納メラレル場合

ニ、不利益ガ起ルヤウナ點ニ付テ、十分政

府ニ於テ稅制整理ノ完成ノ上カラ御考ヘヲ

願ヒタイト云フ御希望通り之ヲ可決スルト

云フコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(添田壽一君) 原案ニ御異議ゴザ

イマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(添田壽一君) ソレデハ可決ト認

マスカ

○委員長(添田壽一君) ソレデハ可決ト認

マスカ

メマス、次ハ砂糖消費稅法中改正法律案

〔「原案贊成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(添田壽一君) 別ニ御異議ゴザイ

マセヌケレバ、可決ト認メマス、次ハ關稅

定率法中改正法律案ト云フノハニツアリマ

ス、一ツハ即チ砂糖並ニ二百四十四號ニ關

スルコトデアリマス、一ツハ二十二號以下

正デアリマスガ、是ハ私ハ原案ニ異議ガゴ

ザイマセヌ、唯希望イタシテ置キマスルノ

ハ、從來此改正ヲ必要トスル所以ノ起々タ

事柄ガ、又起ラストモ限りマセヌガ、ドウ

カ是ハ十分御注意ヲ願イタク、斯ウ云フ御

注意ヲ以チマシテ、原案ニ贊成イタシマス

○委員長(添田壽一君) 唯今藤田委員ノ御

注意ノ點モ合セテ、政府ニ於テモ宜ク御考

ヲ願ヒタイト思ヒマス、原案ハ然ラバ是デ

御異議ガゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

ソレデハ可決ト認メマス、ソレカラ次ノ關

稅定率法中改正法律案ニハ衆議院ノ修正モ

アルノデアリマス、是ハ一應先刻伺ヒマシ

タケレドモ、政府ニ於テ御異議ハゴザイマ

セヌカ

○政府委員(黒田英雄君) 先程御説明申上

ゲマシタヤウニ、政府ニ於テ同意ヲ致シテ

居ル次第アリマス

○藤田四郎君 衆議院修正原案通り贊成イ

タシマス

○政府委員(添田壽一君) ソレデ衆議院ノ修

正通リデ、之ヲ可決ト認メテ宜シウゴザイ

マスカ

○委員長(添田壽一君) ソレデハ可決ト認

マスカ

○委員長(添田壽一君) ソレデハ可決ト認

マスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(添田壽一君) ソレデハ可決ト認

マスカ



其他金額ダトカ何トカ色ニナモノガ皆兩方ニマザルコトニナリマス、又納稅者ガ自分ノ徵收配付ガ參リマシタ時ニ計算ヲシテ見ヤウト思ヒマシテモ、必ヤソレヲ控除シタ、所謂本稅ノモノト、附加稅ガ參リマスルト云フト、其制限ダケ控除イタシマシテ、又其金額ダケヲバ収益ノ上ニ加ヘタト云フヤウナ計算ヲ捨ヘテ、サウシテ其附加稅ガ合致シテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ見ル不便ガゴザイマス、又一時ノ不便デハサウダラウト思ヒマスガ、兎ニ角地方ニ於テハ國稅ヲ賦課イタシマスルノニ國稅ト附加稅トノ基礎ガ違フト云フユトハ、私ハ是等ガ長ク纏クト云フコトハ面白クナイト思ヒマスルデ、御改正ガアツラ結構ダト思フノデアリマス、宜シク御考慮ヲ願フコトニシテ置キマシテ、是ハ打切りマス、ソレカラ唯今ノ法律ノ第三十七號ノコトデゴザイマスガ、此五條ニ於キマシテハ制限外ノ十二マデ課スルコトヲ得トアリマスケレドモ、六條ニ於キマシテ、ソレハ「地方長官ニ委任スルコトヲ得」トナッテ居リマス、ソレカラ後ニ勅令ヲ以チマシテ全然其地方長官二十ニト云フモノヲ委任ニナッテ居リマスル、然ルニ今回ノ改正サレマシタ三號ノ戸數割ヲ施行シナイ所ニ七錢ヲ許スト云フノハ、是ハ當然許サナケレバナラヌモノト思フ、此分ニ對シテハ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケルト云フコトガ留保シテアル、是ハ委任シテアル所ガ何處ヲ調べマシテモ無イノデアリマス、サウ致シマスルト、十二ト云フ大キナモノ、又モウ一ツ其以上ノ或種ノ場合ニモ制限外ヲ施行スル時モ或制限附ニ於テ地方長官ニ委任サレテアリマス、サウ致シマスト、地方ノ附加稅ヲ申請イタシマスルノニ、七錢マデノ附加稅ヲ戸數割ヲ施行シナイ爲ニ要スル、サウシテ七錢マデノ制

限外ヲセントスル時ニハ兩大臣ノ認可ヲ得ナケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマス、ソレヲ飛越シマシテ十、或ハ十一、十二、マデノ制限外ヲスル時ニ、地方長官限

リデ其認可ヲ取テシマヘルコトニナル、此點ニ於テ甚ダ惑ウノデアリマス

○政府委員(黒田英雄君) 唯今御尋ノ點ニ付キマシテハ色ニ地方ニ委任シマスルコトニ付キマシテハ、唯今内務省ト大藏省ト協議イタシマシテ、定メツ、アルノデアリマシテ、不日ソレモ決マルコト、考ヘマスルノデ、詳細ノコトハ實ハ私今ハキ記憶イタシテ居リマセヌノデアリマスカラ、是ハ又アトデ内務省ト能ク打合セマシタ上デ私カラ田村サンニ能ク詳シク御詰申上デタイト思ヒマスガ、コニ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケル時ニハ、戸數割ヲ課スルコトガ原則デアル、併ナカラ戸數割ヲ課シ難イ場合トアリマスカラ、サウ云フ風ナ根本ノ問題デアルノデ、内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケルト云フコトニサレテ居ルト記憶シテ居リマス、今申上ゲマシタ通リニ色ニ委任ノ勅令ヲ改正シテ今相談中デアリマスカラ、篤ト相談シタ上デ申上ゲルコトニ致シマス

出席者左ノ如シ		委員長 添田壽一君	副委員長 田村駒治郎君	子爵牧野忠篤君	男爵中島久萬吉君	室田義文君	藤田四郎君	尾崎元次郎君
○田村駒治郎君	ソレデハドウカ御調べ下	關東廳財務部長 西山左内君	樺太廳長官 豊田勝藏君	大藏省主税局長 黒田英雄君	司法參與官 八並武治君	同上	同上	同上
○政府委員(黒田英雄君)	ソレデハ後程能ク内務省ト相談シマシテ申上ゲルコトニ致答ヲ得マスレバ、結構デアリマス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
○委員長(添田壽一君)	シマシタノハ、無論法律デ許シテ居ル範圍ノ問題デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマスシマス、尙ホ委任スルコトヲ協議シテ申シマス、尙ホ委任スルコトヲ別ニ御發議ガゴザイマセヌケレバ是デ此會ヲ閉デマス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

昭和二年三月十九日印刷

昭和二年三月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局